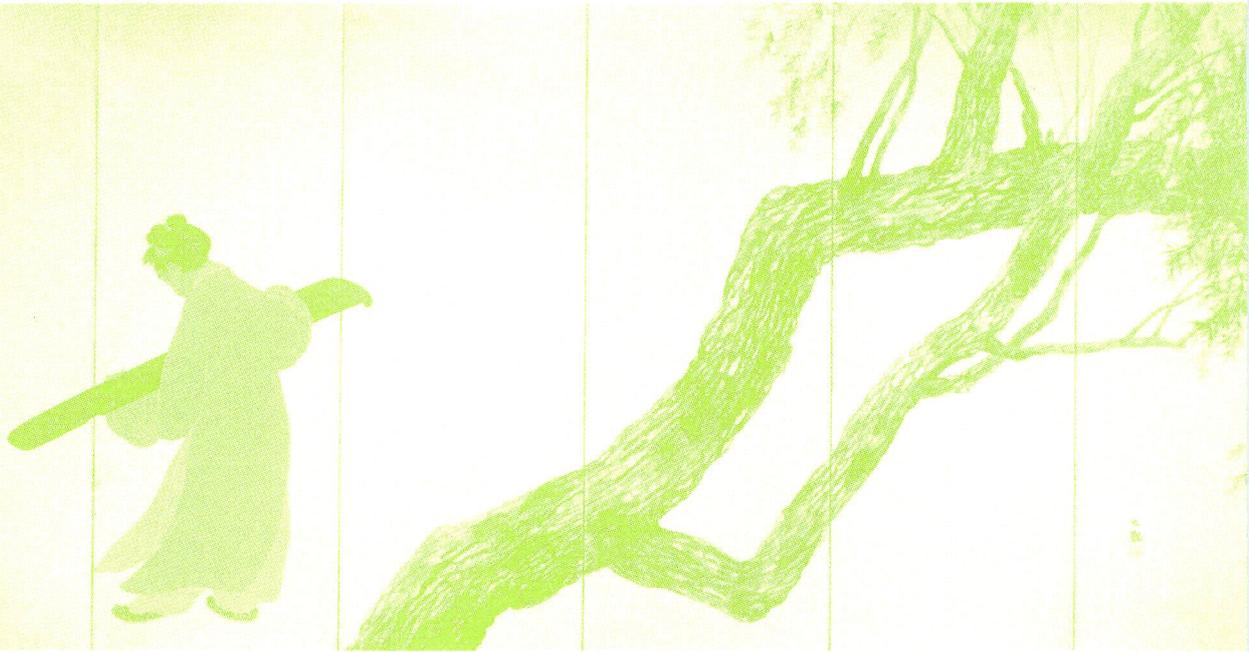


# 会 報

第27号

平成11年度



東京都立高等学校教頭会

## 会報第27号の発刊によせて

会長 鈴木 國夫

平成11年度の都立高等学校教頭会の「会報」第27号が会員の皆様のご協力により発刊される運びとなりました。この会報には会則や会の歴史、会員の異動等と、本会の一年間の活動の集大成として、本部役員、幹事会、総務部会、三研究部会、各学区・学科および関係諸機関との交流等の活動及び状況が掲載されております。頁を紐解けば改めて教頭会の活動が多くの方々に支えられていることを痛感致します。会員各位に有効にご利用いただければ幸いです。

各学校における管理運営規程の制定の本格運用に始まり、都立高校改革推進計画・第二次実施計画の発表、新しい人事考課制度の導入決定と、多事多難で激動の年、平成11年度もまもなく終わろうとしております。この一年間、会の充実・発展のためにご協力頂きました会員各位、都教育委員会の方々、校長協会、定通教頭会、事務会、校長協会事務局、教頭会事務局の諸先生方に会長として御礼を申し上げます。

特に副会長の山口正光・齋藤信一郎先生を始め、全国教頭会の役員の先生方のお力に支えられましたことを心から感謝いたします。

本年度の活動も6月10日の総会に始まり、7月下旬には第38回の全国大会が高知県高知市で開催されました。都教頭会からも85名の方が参加し、例年どおり三分科会で研究成果を発表いたしました。9月6日には都教委主管の高等学校教頭研究協議会が全、定・通の教頭が一同に会し、現場の実践に密着した研究の発表と協議が行われました。全国大会及びこの教頭研究協議会に向けてこの一年間直接携わった研究部の方々、発表された方々のご苦勞に対し深く感謝申し上げます。しかし、一昨年から研究連絡員制度の導入によりその活性化を図って参りましたが、残念ながら毎月の研究部会への出席はじり貧状態で芳しくありません。会員諸氏の本教頭会の設立趣旨に対する自覚と一層のご理解を重ねてお願い致します。

さて、平成9年度の都立高校改革推進計画の策定、そして10年度の「都立高等学校在り方検討委員会」答申以来一連の都立高等学校改革の中、引き続き都の教育行政は急速に動いております。新しい人事考課制度も間もなくこの四月から導入されます。そして新指導要領による教育課程の策定、「総合的な学習時間」の研究、更なる「開かれた学校経営」の推進など、教頭が校長のリーダーシップの下、教職員の要となって取り組まねばならない新しい課題や問題点が息つく暇もなく押し寄せてきております。

本会といたしましても都教育委員会との更なる連携及び校長協会、事務長会をはじめ諸団体からのご指導を頂きながら、全日制、定時制・通信制の全教頭の緊密な連携を図りつつ、現下の困難を打開すべくさらに努力をして行きたいと思っております。会員諸氏の本会への結集と一層のご協力をお願い申し上げます。

おわりに、本会の活動に対しまして貴重なご指導、ご援助をくださいました都教育委員会、特に指導部の先生方、校長協会、関係各機関の皆様を重ねて厚く御礼申し上げます。また、この会報の発刊にあたりご多忙のなか執筆、編集にあられた関係の諸先生方を始め会員各位のご協力と、そして教頭会事務局の奥井利一・高橋邦昌両先生のご指導とご尽力に厚く御礼申し上げ、会報発刊のご挨拶と致します。

## 目 次

会長あいさつ（発刊によせて）

### 1. 教 頭 会 の あ ゆ み

1. 本会創立以前の教頭会 ……	1
2. 会員数と会費の変遷 ……	3
3. 本会のあゆみ ……	6
4. 本会のあゆみ一覧 ……	9

### 2. 総 務 部 会 報 告

1. 本部の活動 ……	13
2. 平成11年度予算 ……	14
3. 平成11年度事業報告 ……	16
4. 総会・懇談会 ……	17
5. 幹事会 ……	18
6. 総務部会 ……	19
7. その他の会議 ……	20
8. 特別委員会 ……	21

### 3. 主 な 活 動 報 告

1. 全国高等学校教頭会 ……	22
2. 都立高校教頭研究協議会 ……	23
3. 四者協議会・四者懇談会 ……	24

### 4. 学 区 別 支 部 教 頭 会 報 告

1. 第1学区高校教頭会 ……	26
2. 第2学区高校教頭会 ……	27
3. 第3学区高校教頭会 ……	28
4. 第4学区高校教頭会 ……	29
5. 第5学区高校教頭会 ……	30
6. 第6学区高校教頭会 ……	31
7. 第7学区高校教頭会 ……	32
8. 第8学区高校教頭会 ……	33
9. 第9学区高校教頭会 ……	34
10. 第10学区高校教頭会 ……	35
11. 島しょ地区高校教頭会 ……	36
12. 多摩地区全日制高校教頭会 ……	37

### 5. 学 科 別 支 部 教 頭 会 報 告

1. 普通科高校教頭会 ……	39
2. 工業高校教頭会 ……	40
3. 商業高校教頭会 ……	42
4. 農業高校教頭会 ……	43

### 6. 研 究 部 会 報 告

1. 管理運営研究部会 ……	45
第1委員会（学校管理関係） ……	46
第2委員会（職務、待遇関係） ……	47
2. 高校教育研究部会 ……	49
第1委員会（教育課程関係） ……	50
第2委員会（教育対策関係） ……	51
3. 生徒指導研究部会 ……	53
第1委員会（生活指導関係） ……	54
第2委員会（教科外活動関係） ……	55

### 7. 会 員 異 動

会員異動 ……	57
---------	----

### 8. 編 集 後 記 ……

60

# 1. 教頭会のあゆみ

## 1. 本会創立以前の教頭会

明治19年10月勅令65号「尋常師範学校官制」第3条「教頭ハ教諭中ヨリ之ニ兼任シ、学校長ノ監督ニ属シ、教務ヲ整理シ教室ノ秩序ヲ保持スルコトヲ掌ル」とあり、また昭和16年3月勅令第148号「国民学校令」で「学校長及教頭ハ其ノ学校ノ訓導ノ中ヨリ之ヲ補ス、教頭ハ学校長ヲ補佐シ校務ヲ掌ル」と定めるなど、戦前は教頭職制度があった。その当時の教育制度は5年制の中学校・高等女学校・工業学校・商業学校・農業学校などに分かれていた。戦前の教頭会は関係の深い学校同志が校務連絡と親睦のため集まる程度の会はあったが教頭会としての組織化されたものはなかった。

戦後の昭和22年3月法律第26号「学校教育法」公布により、教頭職は法的になくなったので、校長の命ずる校務分掌の一部とし名ばかりの教頭が存在していた。昭和30年都教委は、「校務主任」の制度を設け、教頭全員に「校務主任」の辞令を渡し、12月1日付で任命した。このようなことから普・工・商・農などの教頭会は規約をもうけるなどし、各々「校務主任会」を組

織、やや教頭会的活動を行うようになった。その後昭和38年に全都の高校で組織する本会を創設した。本会が創立する以前の教頭会の歴史は次の通りである。（昭和49年2月内山調）

### 東教会（普通科）

昭和12年創立。昭和38年本会の創立により、昭和38年発展的解散

昭和12年春、府立第7高女に府立高女全校の教頭10名が集り親睦と校務連絡を目的に会を創設した（故松岡忍岡高女教頭の日記より）。昭和18年に都制がしかれ、府立高女も市立高女も全部都立高女と呼ばれるようになった。そのとき全都立高等女学校25校が忍岡高女に集り総会を開き組織を強化した。その後、戦争のため会は開けなかったが、昭和24年より開けるようになり、昭和30年頃より男子系高校の入会も増加し会は発展してきた。昭和32年に都立高校校務主任会が発足したがこれと並行して会は存続、昭和38年都立高校教頭会が創立したので昭和39年1月23日、南多摩高校で最後の総会を開き発展的解散した。

年 度	昭12年	昭13年	昭18年	昭19年	昭24年	昭25年
会 員 数	10校	10校	25校	25校	31校	35校
会 費	—	—	—	戦争のため昭和24年まで中断する	300円	300円
当番幹事校と会場	府立第7高女	昭14~17年 不明	忍 岡		駒場、富士、忍岡、足立	竹台、井草、千歳、鷺宮

昭26年	昭27年	昭28年	昭29年	昭30年	昭31年	昭32年
35校	35校	35校	38校	40校	42校	46校
300円	300円	300円	300円	300円	300円	300円
八潮、市谷、紅葉川、明正	京橋、本所、台東、三田	不 明	不 明	豊島、玉川、桜町、深川	雪谷、武蔵、北野、大崎	南多摩、目黒、神代、江北

昭33年	昭34年	昭35年	昭36年	昭37年	昭38年	昭39年
48校	50校	50校	60校	63校	63校	63校
300円	300円	300円	300円	300円	300円	300円
千歳丘、一橋、足立、荻窪	白鷗、南多摩、富士森、府中	竹早、本所、広尾、青山	志村、板橋、北多摩	不 明	不 明	不 明

会合は毎年5回を目標にし、4回は学校、1回は外部の会場を選んだ。

（昭和49年2月神藤調、昭和50年神藤訂正）

### 東京都立高等学校校務主任会（普通科）

昭和32年創立。昭和38年本会創立全校入会、その後普通科高校教頭会支部となる。

昭和32年1月17日駒場高校で普通科高校が集り、各学区から幹事を出し、その中から代表幹事を決める組織で創立総会を行った。目的は親

睦と校務連絡が主なもので、年1回の総会と年2～3回の幹事会を行う程度の会であった。組織は普通科高校全体であるが、大島・三宅・八丈の島関係は未加入、昭和35年府中高、昭和38年は深沢・小岩・小平・南・大山の5校新設入会とし、86校となる。

年 度	昭 32 年	昭 33 年	昭 34 年	昭 35 年	昭 36 年	昭 37 年
会 員 数	76校	76校	76校	77校	77校	77校
会 費	500円	500円	500円	500円	500円	500円
代 表 幹 事	鈴木 菊雄 (駒 場)	森本久次郎 (日比谷)	岸田 文男 (西)	渡辺 元 (板 橋)	細沼 清 (白 鷗)	田代清三郎 (両 国)

(昭和49年2月神藤、内山調、昭和50年2月神藤、内山訂正)

### 東京都立工業高等学校教頭会

昭和25年創立。昭和38年本会創立全校入会、その後工業高校教頭会支部となる。

はじめは校長会主催の教頭をねぎらう親睦の会であったが、昭和31年に校務主任会と名称を変え、会則を設けるなどし、会長と幹事3名で運営するようになり、昭和38年には幹事長と副

幹事長、幹事4名に変更され現在に至っている。組織は工業高校全校であるが、昭和31年共同実習所入会、昭和34年一橋工と羽田工が合併、同年烏山工新設、昭和38年は練馬・荒川・足立・葛西・田無・多摩・砧・杉並・町田・府中の新設10校、同年航空工廃止し、共同実習所を含めて29校となる。

年 度	昭25年	昭26年	昭27年	昭28年	昭29年	昭30年	昭31年	昭32年	昭33年	昭34年
会員数	19校	19校	19校	19校	19校	19校	20校	20校	20校	20校
会 費	会場校の負担から必要に応じ徴収するようになる						500円	500円	500円	500円
備 考	校長会主催の会から教頭会に発展						都立工業高校校務主任会			

### 東京都立商業高等学校教頭会

創立は昭和26年頃らしい。昭和38年本会創立時に全校入会。その後商業高校教頭会支部となる。

はじめのうちは記録がないので不明であるが、

昭35年	昭36年	昭37年
20校	20校	20校
500円	500円	500円
都立工業高校校務主任会		

(昭和49年2月内山・遊佐調、昭和50年2月内山・元田訂正)

昭和32年に組織を強化し、幹事長制度を設け、年に数回の会合を行っている。

その後、昭和38年に四谷・赤羽の2校新設入会し、25校となった。

年 度	昭 32 年	昭 33 年	昭 34 年	昭 35 年	昭 36 年	昭 37 年
会員数	不 明					25校
会 費	不 明					1,000円
備 考	都立商業高校校務主任会					

(昭和49年2月八田調)

## 東京都立農業高等学校教頭会

昭和24年創立。昭和38年本会創立時に全校入会。その後農業高校教頭会支部となる。

はじめは記録がないので不明であるが、教頭の集まる会はあった。昭和30年に会則を設け、

持ち廻り幹事で運営していたが、昭和36年に幹事を2名に強化し、毎年6回の会合を行っている。会員数は昭和32年に農産高が独立、昭和36年大島・三宅・八丈の農業科3校入会、昭和40年瑞穂農芸高独立し、9校となる。

年度	昭24年	昭25年	昭26年	昭27年	昭28年	昭29年	昭30年	昭31年	昭32年	昭33年
会員数	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校	5校
会費	不明	不明	不明	不明	不明	不明	500円	500円	500円	500円
備考	教頭の集まる会はあったが細部不明									

### 2. 会員数と会費の変遷

本会創立から現在まで、学校数・会員数・会費・新設校のあゆみを次の表にまとめた。

<変遷表について>

1. 本会が設立した昭和38年度は新設17校と廃校1校があるので125校から140校となった。
2. 昭和38年～昭和45年は普+商・普+農・本校+分校・共同実習所など各々1校として入会、会員数は実際の学校数より多い。
3. 昭和38年大森高馬込分校(定)は南高として新設、同年代々木高(定)は3部制となり入会。

昭34年	昭35年	昭36年	昭37年
5校	5校	8校	8校
500円	500円	500円	500円
都立農業高校校務主任会			

(昭和49年2月池田調、昭和50年2月山本訂正)

4. 昭和40年浅草高(定)は東高(全)に変わり新設、昭和46年大島高差木地分校は大島南校に変わり新設。
5. 昭和44年秋川高、昭和48年大島南高に舎監長制度が新設され入会、昭和48年だけ世田谷工高は2人教頭であった。(昭和52年2月神藤・内山調、その後追加)

〔会員数と会費の一覧表〕 (昭和38年以降)

年 度	学 校 数	会 員 数 (人)					年 会 費 (円)				新 設 高 校 名 ※ 募集停止校名 ○ 転科した高校名	1. 1校で2科や2名教頭などの入会校名 2. 分校・共同実習所などの入会校名
		普 通	工 業	商 業	農 業	計	都 費	私 費	個 人	計		
昭和 38年	140 校	86 人	29 人	25 人	8 人	148 人	—	500 円	—	500 円	深沢 小岩 小平 南 大 山 四谷商 赤羽商 荒川工 杉並工 砧 工 練馬工 足立工 葛西工 田無工 多摩工 町田工 府中工 (計17校)	杉並共実 北多摩 三宅 代々木 五日市 八丈 赤坂 大島 (計8)
" 39	141	88	30	25	8	151	—	500	—	500	練馬 (計1校)	杉並共実 赤坂 浅草(定) 八丈 江東共実 北多摩 大島 代々木 五日市 三宅 (計10)
" 40	144	90	30	24	9	153	—	500	—	500	秋川 久留米 東 瑞穂農芸 (計4校)	杉並共実 赤坂 大島 江東共実 北多摩 三宅 代々木 五日市 八丈 (計9)
" 41	145	91	30	20	6	147	—	500	—	500	日野 (計1校)	杉並共実 江東共実 (計2)
" 42	146	92	29	20	6	147	—	1,000	—	1,000	羽田 (計1校)	杉並共実 (計1)

年 度	学 校 数	会 員 数 (人)					年 会 費 (円)				新 設 高 校 名 ※ 募集停止校名 ○ 転科した高校名	1. 1校で2科や2名教頭などの入 会校名 2. 分校・共同実習所などの入会校 名	
		普 通	工 業	商 業	農 業	計	都 費	私 費	個 人	計			
昭和 43	147	94	29	20	6	149	—	1,000	—	1,000	東村山 (計1校)	秋川(舎監長) 杉並共実(計2)	
"	44	149	97	28	20	6	151	—	1,000	—	1,000	国分寺 小笠原 (計2校)	秋川(舎監長) 差木地分校(大島) (計2)
"	45	149	97	28	20	6	151	1,000	—	—	1,000	— (なし)	前年に同じ (計2)
"	46	155	102	28	20	6	156	1,000	—	—	1,000	淵江 福生 新島 東大和 忠生 大島南 (計6校)	秋川(舎監長) (計1)
"	47	161	108	28	20	6	162	1,000	—	—	1,000	片倉 府中東 神津 永山 保谷 芸術 (計6校)	前年に同じ (計1)
"	48	164	112	29	20	6	167	9,000	—	—	9,000	葛西南 狛江 清瀬 (計3校)	秋川(舎監長) 大島南(舎監長) 世田谷工(2人制) (計3)
"	49	168	116	28	20	6	170	9,000	—	—	9,000	高島 足立西 調布北 久留米西 (計4校)	秋川(舎監長) 大島南(舎監長) (計2)
"	50	172	120	28	20	6	174	9,000	—	2,000	11,000	水元 府中西 武蔵村山 野津田 (計4校)	前年に同じ (計2)
"	51	177	125	28	20	6	179	9,000	—	5,000	14,000	光丘 八王子東 青梅東 足立東 武蔵村山東 (計5校)	前年に同じ (計2)
"	52	184	132	28	20	6	186	9,000	—	5,000	14,000	青井 調布南 稲城 村 篠崎 小平西 秋留台 (計7校)	前年に同じ (計2)
"	53	191	139	28	20	6	193	9,000	—	6,000	15,000	蒲田 八王子北 昭島 大泉北 成瀬 城東 清瀬東 (計7校)	前年に同じ (計2)
"	54	196	144	28	20	6	198	9,000	—	6,000	15,000	永福 足立新田 南野 砂川 武蔵野北 (計5校)	前年に同じ (計2)
"	55	202	150	28	20	6	204	9,000	—	6,000	15,000	大森東 大泉学園 館 小川 日野台 小金井北 (計6校)	前年に同じ (計2)
"	56	204	152	28	20	6	206	9,000	—	6,000	15,000	田柄 松ヶ谷 (計2校)	秋川(舎監長) 大島南(舎監長) (計2)
"	57	204	152	28	20	6	206	9,000	—	6,000	15,000	— (なし)	前年に同じ (計2)
"	58	207	155	28	20	6	209	9,000	—	6,000	15,000	小平南 田無 山崎 (計3校)	前年に同じ (計2)
"	59	209	157	28	20	6	211	9,000	—	6,000	15,000	東大和南 東村山西 (計2校)	前年に同じ (計2)
"	60	210	159	28	20	6	213	11,300	—	6,000	15,000	南平 (計1校)	秋川(舎監長) 大島南(舎監長) 紅葉川中央校舎 (計3)
"	61	210	160	28	20	6	214	11,300	—	6,000	17,300	— (なし)	秋川(舎監長) 大島南(舎監長) 紅葉川中央校舎 墨田川堤校舎 (計4)

年 度	学 校 数	会 員 数 (人)					年 会 費 (円)				新 設 高 校 名 ※ 募集停止校名 ○ 転科した高校名	1. 1校で2科や2名教頭などの入 会校名 2. 分校・共同実習所などの入会校 名
		普 通	工 業	商 業	農 業	計	都 費	私 費	個 人	計		
昭和 62	210	160	28	20	6	214	11,300	—	6,000	17,300	— (な し)	前年に同じ (計4)
" 63	211	162	28	20	6	216	11,300	—	8,000	19,300	八王子高陵 (計1校)	秋 川 (舎監長) 大島南 (舎監長) 紅葉川中央校舎 墨田川堤校舎 国際 (開設) (計5)
平成 元	212	162	28	20	6	216	11,300	—	8,000	19,300	国 際 ※赤城台 (計1校)	秋 川 (舎監長) 大島南 (舎監長) 紅葉川中央校舎 墨田川堤校舎 (計4)
" 2	213	163	28	21	6	218	11,300	—	8,000	19,300	単位制 (計1校)	秋 川 (舎監長) 大島南 (舎監長) 紅葉川中央校舎 墨田川堤校舎 単位制 (普・商) (計5)
" 3	212	162	28	21	6	217	11,300	—	8,000	19,300	単位制を新宿山吹と改称	秋 川 (舎監長) 大島南 (舎監長) 紅葉川中央校舎 墨田川堤校舎 新宿山吹 (普・商) (計5)
" 4	212	160	28	23	6	217	11,300	—	10,000	21,300	※紅葉川中央校舎 ○赤 坂 (普→商) ○五日市 (普→商)	前年に同じ (計5)
" 5	212	160	28	23	6	217	11,300	—	10,000	21,300	— (な し)	前年に同じ (計5)
" 6	213	160	28	23	6	217	11,300	—	10,000	21,300	(公立学校開設)	秋 川 (舎監長) 大島南 (舎監長) 墨田川堤校舎、新宿山吹 (普・商) (計4)
" 7	214	161	28	23	6	218	11,300	—	10,000	21,300	※北 京橋、京橋商 飛鳥開設	前年に同じ (計4)
" 8	214	161	28	23	6	218	11,300	—	10,000	21,300	晴海総合高校開設 (計1校)	前年に同じ (計4)
" 9	211	159	28	22	6	215	11,300	—	10,000	21,300	— (な し)	前年に同じ (計4)
" 10	211	159	28	22	6	215	11,300	—	10,000	21,300	※江東工	前年に同じ (計4)
" 11	211	158	28	22	6	214	11,300	—	10,000	21,300	—	新宿山吹2名から1名となる



### 3. 本会のあゆみ

昭和32年度 12月：文部省は「学校教育法施行規則」を改正、第22条に教頭職を位置づけた。

昭和35年度 4月：都教委は「東京都公立学校の管理運営に関する規則」に教頭職を設け、「校務主任」を「教頭」に改め、辞令を渡した。

4月：文部省は教頭を「管理または監督の地位にある管理職手当支給対象」に入れた。都教委は教頭を管理職と位置づけ、はじめて管理職手当7%を支給した。

昭和37年度 38年1月：全国高等学校教頭会は、都立両国高校で創立総会を開催した。

昭和38年度 6月20日：都立高校校務主任会（普通科教頭会）と各職業高校校務主任会（各職業科教頭会）が合同し、「東京都立高等学校教頭会」が誕生した。当時の会員数は140校148人であった。

昭和39年度 40年1月：「ILO78号条約批准にともなう国内法の改正」により「人事院規則17-0」を改正した。都教委は管理職手当を8%に増額した。

昭和41年度 7月9日：文部省は教頭を正式に管理職の範囲に指定した。

昭和42年度 6月：都教委は教頭の管理職手当を10%に増額した。

昭和45年度：都教委は教頭の管理職手当を10%から15%に増額、教頭会に教育研究団体会費（都費）1校あたり1,000円の割で補助された。本会はこの年「全国高等学校教頭会」に正式加入し、本会会則の一部改正により、毎年交代制の代表幹事を、継続できる会長制に改め、組織を強

化した。この年から東京都立高等学校教頭研究協議会が箱根三昧荘にて1泊2日で始まった。翌年からは2泊3日の研究協議会になった。

昭和46年度 5月：「教育職員の給与等に関する特別措置法」の公布があり、教諭に4%の教職調整額が支給された。

47年1月：都教委は教頭が教諭なので、管理職手当を15%から13%に減額した。

昭和47年度 「教頭職の法制化」を望む世論の高まりと共に教頭会意識も強まり、「親睦会的体質」から「活動できる体質」へ改善に着手した。役員組織、学区別・学科別支部教頭会、研究部会組織、継続活動のできる独立した事務局、これらの運営に必要な資金等を調査研究し、翌年度から3年計画で実施することにした。

昭和48年度 会則を変更し、活動のための細則を新設した。また、全国高等学校教頭会と協力し、事務所を新設した。本会は新役員組織と活動組織を新しくスタートさせ、本会の基礎となる大改革に着手した。都教委のご理解により、教育研究団体会費（都費）を1校1,000円から9,000円に増額された。そのお蔭で研究集録・会報の創刊号が刊行できた。

49年2月25日：法律第2号「教員の人材確保に関する特別措置法」の公布があり、教頭職の法制化を望む世論の高まりと共に教頭会の活動に期待をよせる声が高まった。本会は全国高等学校教頭会に協力し、教頭職法制化と教頭職1等級格付に全力をあげ活動した。

昭和49年度 6月1日：法律第70号「学校教育法の一部を改正する法律」の公布により、教頭職が法制化されたので、都教委は10月1日教頭に「教頭職」を命ずる辞令伝達式を挙行了した。

50年3月1日：法律第9号「一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律」が公布される。（昭和49年神藤、内山調）

昭和50年度 4月1日：都教委は教頭職の75%を1等級に昇格発令した。これで「3年計画」の3年目、永年の念願が法制上完成した。本会の活動のため、会則の一部改正と各種内規を設け、活動資金1名宛5,000円（個人負担）の特別会費を10月に臨時総会を開き決定した。「活動できる体質」改善3年計画は、全員一致協力のもとめでたく完了した。

12月：文部省は主任制度化のための学校教育法施行規則の改訂省令を公布した。

昭和51年度：石油ショックで、東京都立高等学校教頭研究協議会は宿泊研修を中止し、2日の日程で、都内実施となった。

昭和53年度 6月8日：総会で、特別会費5,000円から6,000円に改正された。

昭和55年度 5月22日：法律第57号「教頭職定数の標準に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、教諭定数の枠内で扱われていた教頭は、法律で正式定数として定められた。その給与は地方交付税制度により、保証が受けられる。

5月：事務局は渋谷区宇田川のアパートから、同区道玄坂の島田ビル4階へ移転した。

7月15日：東京都条例第71号「学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」の公布と、東京都教育委員会規則第29号「学校職員の給与に初任給、昇格及昇給等に関する規則の一部を改正する規則」の公布により、昭和55年4月1日付で、校長は特1等級、教頭は1等級に全員格付された。これは昭和52年12月21日「給与法の一部改正」の公布による

ものである。

昭和57年度：創立20周年を迎え、3月4日「創立20周年記念号」を発行した。

昭和59年度 8月：臨時教育審議会設置法が公布された。

昭和60年度 6月13日：総会で教育研究団体会費（都費）1校あたり9,000円から11,300円へ改正され、通常会費が増額された。そのお蔭で全日制・定時制合同の東京都立高等学校教頭研究協議会「研究協議会報告」創刊号が刊行できた。

昭和62年度：臨時教育審議会第3次答申（4月）と最終答申（8月）があった。これらに呼応して、研究部が中心となり、新しい時代の高校教育の改善と充実に務めていくことにした。

昭和63年度 5月：文部省は、初任者研修法を公布した。

6月9日：総会で、特別会費6,000円から8,000円に改正された。

平成2年度 9月：都教委は、校長・教頭・指導主事の任用制度を改正した。

3月1日：文部省は校長・教頭・永年勤続教諭に、期末・勤勉手当の傾斜配分加算率を通知した。

平成3年度 12月：文部省は生徒数急減のため、学級定員を45～40に学級編成基準を弾力化した。

平成4年度 6月23日：本会の30周年記念式典を挙行し、総会で、特別会費8,000円から10,000円に改正された。

9月：学校週5日制を目指し、月1回土曜日が休業日になる。これに対応するよう総務部が中心となり、各校の校内態勢整備に務めてきた。

（平成4年 赤津改訂）

平成6年度 4月：普通科等の学級編成が1学級40人となり、入学選抜制度が、グループ選抜から各学校単独選抜となった。この制度は平成6年度の入学者から適用された。また、今年度から、高等学校学習指導要領が改定され、各校新教育課程の実施が始まった。本教頭会では、平成元年度から研究部が中心になって、これに伴う研究を継続してきた。

6月：平成8年7月に行われる全国大会（東京大会）を主管するため、本会は企画委員会を発足させた。

12月：都教委は、全都立学校の校長及び教頭に、職務に関する目標と成果及び職務に関する希望を自己申告させ、それらを参考にして今年12月の期末手当から、勤勉手当へ成績率を導入し経過措置として人事管理の適正を図った。

平成7年度 5月：全国大会（東京大会）準備委員会が総務部を母体にして結成され、11月に結団式が行われた。

6月：都教委は教頭問題等検討委員会を設立し、教頭の職務・任用制度・表彰制度・再雇用制度等について検討を始めた。本会からは川島副会長がその担当となった。（平成7年 奥井追加）

平成8年度 4月・5月：「補欠募集要項」、「全日制間の転学」についての改正が行われた。

7月～11月：「教頭問題検討委員会報告」（平成8年3月）を受けて「校長及び教頭の任用に関する基準及び東京都教育委員会表彰実施要項の一部改正」（7月）、「教頭職務の明確化のための規定整備について」（10月）、「校長・教頭業務実態調査について」（11月）、「東京都立学校事案決定規程の制定」（1月）等が相次いで出された。

7月23・24日：全国高等学校教頭会総会・研究協議大会が本会の主管で開催された。

10月：本会の研究部活動活性化に

向けての「アンケート調査」が行われた。

1月25日：「これからの都立高校の在り方」についての答申が公表された。

平成9年度 6月：第15期中央教育審議会が「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」、審議のまとめを答申した。

7月：教育職員養成審議会第1次答申が提出された。

8月：教育改革プログラムの主な改訂点が公表された。

9月：都立高校の予算について、検討報告書（案）が提案された。

10月：都立高校改革推進計画の概要が公表され、向う10年間の長期計画が具体化されることになった。

本年度の特徴的な活動として、都教委（指導部）との協議（2回）、定通・事務長会との話し合いが持たれた。

3月：「都立学校あり方検討委員会報告書」が答申された。

平成10年度 6月：学校教育法の一部改正により、公立の中・高一貫校の設置が可能になった。都立高校では都立大学附属高校、三宅高校が発足する予定である。

7月：「東京都公立学校の管理運営に関する規則」の一部改正が行われた。

12月：東京都「教員の人事考課に関する研究会」より中間まとめが公表された。

3月：「高等学校学習指導要領」が公布された。

教頭会は都教委と本部役員との連絡会を2回開催し、諸課題について情報交換を行い、全教頭に周知徹底に努めた。

平成11年度 10月：都立高校改革・二次実施計画により、全日制23校、定時制17校が統合または再編成計画の対象として発表された。

12月：教員人事考課制度につき検討委員会報告が出され、平成12年度より実施されることとなった。

#### 4. 本会のあゆみ一覧

本会運営は、昭和38年創立当初は幹事長制度、45年から会長制度、48年度には役員組織と部会組織の規定を設け、現在に至っている。

年 度	幹 事 長	総 会	刊 行 物
昭和38	内山(立川)	創立総会、白鷗(-)	会員名簿(13P)
" 39	中馬(九段)	総会、日比谷(-)	" (13P)
" 40	志村(玉川)	" 白鷗(-)	" (13P)私費軽減(10P)
" 41	小笹(富士)	" 教育会館(-)	" (13P)
" 42	鈴木(向丘)	" 私学会館(80名)	" (13P)年間行事状況(4P)
" 43	岸野(足立)	" 精養軒(90名)	" (13P)会報(4P)
" 44	池田(小松川)	" " (90名)	" (13P) " (4P)
" 45	青木(北園)	" " (90名)	" (13P)調査(5P)
			高校生徒指導研究協議会発表要旨(都教委編)不明 高校生徒指導研究協議会研究集録(都教委編)不明
		全国高等学校教頭会に東京都全員入会	
" 46	青木(北園)	総会 出版クラブ(90名)	会員名簿(13P) 高校生徒指導研究協議会発表要旨(都教委編) 33P 高校生徒指導研究協議会研究集録(都教委編) 40P

年度	○ 会 長 副 会 長	事務局長 次 長	総 会 総 務 部 会	研 究 部 部 員 数 (部 長 名)	刊 行 物
昭和 47	○神 藤(桜町) 波多野(江東商)	な し	総会、青山会館(100名) 臨時総会、私学会館(80名) 常任幹事会 5回 体質改善計画立案と実施準備	な し	会員名簿 15P 教頭勤務実態 10P 高校教頭研究協議会発表要旨(都教委編) 49P 高校生徒指導研究協議会研究集録(都教委編) 40P
" 48	○若 林(東) 波多野(江東商) 内 山(烏山工)	○神 藤	総会、青山会館(110名) 臨時総会(90名) 総務部会14名 5回 「体質改善3年計画」初年度着手 全国教頭会事務局内に本会事務局を設置	管理研 26名(安部) 高校研 24名(西村) 生徒研 23名(古賀) 高校教頭研究協議会発表要旨(都教委編) 高校生徒指導研究協議会研究集録(都教委編)	会員名簿 16P 会報創刊号 40P 研究集録創刊号 43P 67P 不明
" 49	○内 山(烏山工) 波多野(江東商) 安 部(北多摩)	○神 藤	総会、青山会館(100名) 総務部会18名 6回 全国大会運営委員会(22名)	管理研 28名(吉野) 高校研 24名(長里) 生徒研 22名(古賀)	会員名簿 18P 会報第2号 58P 教頭職に関する調査・研究 25P 高校教頭研究協議会発表要旨(都教委編) 32P 高校生徒指導研究協議会研究集録(都教委編) 48P
			全国大会(九段会館・都市セツク-)、	文部大臣特別出席	出席520名

年度	○ 会 長 副 会 長	事務局長 次 長	総 会 総 務 部 会	研 究 部 部員数 (部長名)	刊 行 物
昭和 50	○内 山 (烏山工) 千 野 (井 草) 石 坂 (小石川)	○神 藤	総会、出版クラブ (130名) 臨時総会、 " (85名) 総務部会19名 5回 教頭会「体質改善3年計画」完了	管理研 28名 (吉 野) 高校研 26名 (長 里) 生徒研 22名 (小 林) 高校教頭研究協議会提案要旨 (都教委編) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 18P 会報第3号 49P 研究集録第2号 72P 28P 44P
" 51	○千 野 (井 草) 西 村 (千 歳) 吉 野 (西 )	○神 藤 内 山	総会、青山会館 (125名) 総務部会29名 5回	管理研 29名 (金 井) 高校研 30名 (長 里) 生徒研 37名 (小 林) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 19P 会報第4号 69P 研究集録第3号 75P 校長選考方法調査 5P 54P
" 52	○千 野 (井 草) 梅 本 (北 園) 伊 藤 (忍 岡)	○神 藤 内 山	総会、青山会館 (135名) 総務部会26名 5回 全国大会運営委員会 (79名) 全国大会 (国立教育会館・プレスセンター・サンケイ会館)	管理研 35名 (金 井) 高校研 39名 (山 崎) 生徒研 37名 (諏訪部) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 24P 会報第5号 75P 教頭研究協議会資料 (研究集録第4号兼全国大会資料)72P 44P 出席736名
" 53	○青 木 (南 ) 乃 万 (目 黒) 大 畑 (広 尾)	○神 藤 内 山	総会、市ヶ谷会館 (136名) 総務部会29名 6回	管理研 48名 (杉 江) 高校研 51名 (浅 川) 生徒研 46名 (吉 田) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 24P 会報第6号 81P 研究集録第5号 33P 46P
" 54	○青 木 (南 ) 吉 田 (志 村) 安 西 (農 林)	○神 藤 内 山	総会、市ヶ谷会館 (142名) 総務部会29名 5回	管理研 50名 (高 橋) 高校研 73名 (佐 藤) 生徒研 52名 (大 滝) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 26P 会報第7号 83P 研究集録第6号 34P 63P
" 55	○川 島 (四谷商) 鮎 沢 (戸 山) 大 滝 (葛西南)	神 藤 代 ○内 山 古 賀	総会、市ヶ谷会館 (161名) 総務部会30名 5回 全国大会準備委員会 (6名)	管理研 59名 (高 橋) 高校研 78名 (田 辺) 生徒研 54名 (松 井) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 26P 会報第8号 82P 研究集録第7号 42P 49P
" 56	○鮎 沢 (戸 山) 赤 津 (大 森) 桑 原 (板 橋)	○内 山 神 藤 古 賀	総会、市ヶ谷会館 (175名) 総務部会32名 5回 全国大会運営委員会 (69名) 全国大会 (国立教育会館・サンケイ会館・農協ホール)	管理研 65名 (山 田) 高校研 72名 (鈴 木) 生徒研 66名 (白 井) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 28P 会報第9号 88P 研究集録 (全国大会資料兼) 42P 出席973名
" 57	○赤 津 (大 森) 牛 込 (鷺 宮) 岡 田 (国 立)	○内 山 神 藤 古 賀	総会、市ヶ谷会館 (176名) 総務部会36名 4回	管理研 65名 (山 田) 高校研 70名 (鈴 木) 生徒研 69名 (白 井) 創立20周年臨時号 (教頭の職務に関する研究特集) 高校教頭研究協議会研究集録 (都教委編)	会員名簿 26P 会報第10号 74P 研究集録第8号 66P 研究集録第9号 138P 53P

年度	○ 会 長 副 会 長	事務局長 次 長	総 会 総 務 部 会	研 究 部 部 員 数 (部 長 名)	刊 行 物
昭和 58	○大 森 (田園調布) 剣 持 (杉 並) 鈴 木 (三 商)	○内 山 古 賀	総会、市ヶ谷会館 (174名) 総務部会33名 4回	管理研 66名 (高 橋) 高校研 71名 (大 山) 生徒研 72名 (永 井)	会員名簿 26 P 会報第11号 78 P 研究集録第10号 66 P
" 59	○高 橋 (明 正) 飯 島 (蒲 田) 村 上 (練馬工)	○内 山 古 賀	総会、市ヶ谷会館 (154名) 総務部会34名 4回 全国大会調査委員会 8 名	管理研 66名 (高 橋) 高校研 75名 (篠 田) 生徒研 70名 (山 本)	会員名簿 26 P 会報第12号 81 P 研究集録第11号 67 P
" 60	○山 本 (駒 場) 杉 内 (江 北) 清 水 (国分寺)	○内 山 古 賀	総会、市ヶ谷会館 (164名) 総務部会34名 4回 全国大会準備委員会34名 4回	管理研 68名 (高 橋) 高校研 78名 (篠 田) 生徒研 67名 (岡 本)	会員名簿 26 P 会報第13号 83 P 研究集録第12号 77 P 研究協議会報告創刊号 54 P
" 61	○山 本 (駒 場) 杉 内 (江 北) 小 宮 (富士森)	○内 山 古 賀 赤 津	総会、市ヶ谷会館 (177名) 総務部会35名 4回 全国大会運営委員会64名 4回  全国大会 (国立教育会館、石垣ホール、ニッショウホール)	管理研 67名 (白 川) 高校研 72名 (篠 田) 生徒研 75名 (白 田)	会員名簿 26 P 会報第14号 78 P 研究集録第13号 74 P 研究協議会報告第 2 号 59 P 出席 1,101名
" 62	○中 村 (竹 早) 白 川 (新 宿) 廣 瀬 (保 谷)	○古 賀 赤 津	総会、グランドヒル市谷(161名) 総務部会34名 4回	管理研 84名 (高 橋) 高校研 61名 (田 口) 生徒研 69名 (栗 田)	会員名簿 26 P 会報第15号 74 P 研究集録第14号 71 P 研究協議会報告第 3 号 63 P
" 63	○白 川 (新 宿) 廣 瀬 (保 谷) 中村 (新) (千歳丘)	○古 賀 赤 津	総会、グランドヒル市谷(158名) 総務部会34名 4回	管理研 93名 (鈴 木) 高校研 61名 (田 口) 生徒研 62名 (栗 田)	会員名簿 26 P 会報第16号 71 P 研究集録第15号 69 P 研究協議会報告第 4 号 71 P
平成 元	○崎 田 (狛 江) 奥 井 (豊 島) 小 峰 (練 馬)	○古 賀 赤 津	総会、グランドヒル市谷(160名) 総務部会34名 4回	管理研 86名 (木 村) 高校研 64名 (澤 井) 生徒研 68名 (福 島)	会員名簿 27 P 会報第17号 73 P 研究集録第16号 63 P 研究協議会報告第 5 号 68 P
" 2	○奥 井 (豊 島) 木 村 (国分寺) 和 田 (光 丘)	○古 賀 赤 津	総会、グランドヒル市谷(151名) 総務部会34名 4回	管理研 85名 (井 上) 高校研 65名 (進 藤) 生徒研 68名 (延 藤)	会員名簿 27 P 会報第18号 74 P 研究集録第17号 68 P 研究協議会報告第 6 号 73 P
" 3	○木 村 (国分寺) 和 田 (光 丘) 嶋 澤 (芝 商)	○赤 津 奥 井	総会、青山会館 (140名) 総務部会33名 4回	管理研 86名 (野 中) 高校研 64名 (大 室) 生徒研 67名 (原 口)	会員名簿 27 P 会報第19号 73 P 研究集録第18号 68 P 研究協議会報告第 7 号 69 P
" 4	○高 橋 (小平南) 栗 林 (大泉学園) 井 上 (瑞穂農芸)	○赤 津 奥 井	総会、青山会館 (174名) 創立30周年記念式典・祝賀会 青山会館 (120名) 総務部会34名 4回	管理研 81名 (浦 野) 高校研 70名 (大 室) 生徒研 66名 (結 城) 創立30周年記念誌 編集委員会 (高 橋)	会員名簿 27 P 会報第20号 78 P 研究集録第19号 66 P 研究協議会報告第 8 号 55 P 創立30周年記念誌 84 P

年度	○ 会 長 副 会 長	事務局長 次 長	総 会 総 務 部 会	研 究 部 部 員 数 ( 部 長 名 )	刊 行 物
平成 5	○高 橋 (小平南) 浦 野 (保 谷) 井 上 (瑞穂農芸)	○赤 津 奥 井	総会、星陵会館 (142名) 総務部会35名 4回	管理研 77名 (桑 原) 高校研 71名 (武 田) 生徒研 69名 (横 田)  平成5年1月、奥井	会員名簿 27P 会報第21号 67P 研究集録第20号 64P 研究協議会報告第9号 54P 昭和45～58年度について追加
" 6	○原 口 (南 野) 川 島 (富 士) 内 海 (墨田工)	○赤 津 奥 井	総会、星陵会館 (132名) 総務部会34名 4回 全国大会企画委員会 (12名) 2回	管理研 74名 (牛 島) 高校研 75名 (武 田) 生徒研 68名 (横 田)	会員名簿 27P 会報第22号 68P 研究集録第21号 64P 研究協議会報告第10号 53P
" 7	○原 口 (南 野) 川 島 (富 士) 白 鳥 (芝 商)	○赤 津 奥 井	総会、星陵会館 (130名) 総務部会35名 4回 全国大会企画委員会 (12名) 3回 全国大会準備委員会 (全員) 5回	管理研 73名 (新 妻) 高校研 75名 (森 本) 生徒研 70名 (横 田)	会員名簿 27P 会報第23号 68P 研究集録第22号 64P 研究協議会報告第11号 58P
" 8	○白 鳥 (芝 商) 安 盛 (小松川) 中 西 (井 草)	○奥 井 坪 井	総会、星陵会館 (137名) 総務部会35名 4回 全国大会企画委員会 (12名) 5回 全国大会運営委員会 (65名) 5回 全国大会 (国立教育会館、灘尾ホール、石垣ホール)	管理研 74名 (新 妻) 高校研 72名 (森 本) 生徒研 72名 (廣 見)	会員名簿 27P 会報第24号 82P 研究集録第23号 62P 研究協議会報告第12号 60P 出席 1,260名
" 9	○白 鳥 (芝 商) 安 盛 (小松川) 中 西 (井 草)	○奥 井 坪 井	総会、星陵会館 (152名) 総務部会35名 4回 幹事会65名 2回 全国大会 (松江市) 61名参加	管理研 64名 (新 妻) 高校研 74名 ( 東 ) 生徒研 77名 (小 泉)	会員名簿 24P 会報第25号 60P 研究集録第24号 54P 研究協議会報告第13号 54P
" 10	○東 (富 士) 山 口 (府 中) 松 尾 (農 業)	○奥 井 坪 井	総会、星陵会館 (144名) 総務部会35名 4回 幹事会65名 2回 全国大会 (秋田市) 82名参加	管理研 70名 (新 妻) 高校研 73名 (松尾澤) 生徒研 72名 (中 村)	会員名簿 24P 会報第26号 58P 研究集録第25号 56P 研究協議会報告第14号 62P
" 11	○鈴 木 (深 川) 山 口 (府 中) 齋 藤 (中野工)	○奥 井 高 橋	総会、星陵会館 (169名) 総務部会35名 4回 幹事会65名 2回 全国大会 (高知市) 83名参加	管理研 72名 (新 妻) 高校研 71名 (小 林) 生徒研 71名 (大 澤)	会員名簿 24P 会報第27号 60P 研究集録第25号 59P 研究協議会報告第15号 56P



## 2. 総務部会報告

### 1. 本部の活動（総務部会・幹事会を除く）

会長 鈴木 國夫

#### 平成11年

- 4月19日（月） 平成11年度東京都立高等学校等入学者選抜に関する懇談会
- 26日（月） 東京都教育管理職連絡会第1回理事会
- 5月7日（金） 会計監査・本部役員運営委員会
- 14日（金） 東京都公立高等学校定通教育関係総会
- 28日（金） 平成11年度都立高等学校事務長会総会
- 6月3日（木） 教頭会総会運営委員会
- 8日（火） 平成11年度都立高等学校教頭研究協議会運営委員会（第1回）
- 10日（木） 総会・研究協議会
- 17日（木） 人事考課制度に関するアンケート一斉実施（各学区教頭会にて）
- 25日（金） 東京都教育公務員弘済会第2回評議委員会
- 7月6日（火） 四者連絡協議・懇談会第1回準備会
- 6日（火） 平成11年度都立高等学校教頭研究協議会運営委員会（第2回）
- 8日（木） 事務事業連絡会
- 14日（水） 東京地区公立高等学校PTA連合会大会
- 15日（木） 第1回都教委との研究協議会
- 28日（水）～30日（金） 全国高等学校教頭会総会・研究協議大会（高知市）
- 9月2日（木） 平成11年度都立高等学校教頭研究協議会運営委員会（第2回）
- 6日（月） 平成11年度都立高等学校教頭研究協議会
- 9日（木） 事務事業連絡会
- 10月5日（火） 会計中間監査・本部役員運営委員会
- 11月5日（金）～6日（土） 関東地区教頭研究協議会（茨城県大洗町）
- 12月17日（金） 校長会との連絡協議会
- 21日（火） 役員・研究部幹部協議会

#### 平成12年

- 1月18日（月） 四者連絡協議会・懇談会第2回準備会
- 20日（木） 事務事業連絡会
- 24日（火） 四者連絡協議会・懇談会
- 2月10日（木） 事務事業連絡会
- 3月9日（木） 事務事業連絡会

## 2. 平成11年度予算

### (1) 通常会計(都費)

平成11年4月1日

収 入

東京都立高等学校教頭会

項 目	前年度決算	予 算	備 考
通常会費	2,384,300	2,384,300	都費211校×11,300円
雑収入	509	500	預金利息
繰越金	91,145	88,459	平成10年度より
合 計	2,475,954	2,475,959	

支 出

項 目	前年度決算	予 算	備 考	
運 営 費	会議費	73,100	80,000	総務部会(4回)、幹事会(2回等)
	資料費	2,700	3,000	教職員名簿
	旅 費	60,360	60,000	関東地区教頭連絡協議会
	通信費	36,260	50,000	切手代、はがき等
	印刷費	7,875	30,000	封筒、はがき印刷
	運搬送料	50,945	60,000	全国・都刊行物配布等
	消耗品費	11,329	15,000	事務用品、帳簿等
	小 計	242,569	298,000	
事 業 費	学科別教頭会	285,000	285,000	普 159人×1,000 工28人×2,000 商 22人×2,000 農 9人×2,800
	学区別教頭会	305,000	305,000	215人×1,400 端数切上げ
	研究部会	306,000	306,000	215人×1,400 端数切上げ
	会員名簿	252,000	250,000	A4. 700部. 24P
	会報費	362,250	385,000	A4. 550部. 64P
	研究集録	301,476	305,000	A4. 750部. 54P
	研究協議会報告	333,200	320,000	A4. 500部. 68P
小 計	2,144,926	2,156,000		
予備費	0	19,259		
合 計	2,387,495	2,473,259		

## (2) 特別会計(個人)

平成11年4月1日

東京都立高等学校教頭会

## 収 入

項 目	前年度決算	予 算	備 考
特 別 会 費	2,150,000	2,150,000	215人×10,000円
研 究 助 成 金	300,000	500,000	財・都教育公務員弘済会
負 担 金	0	60,000	私立高校部(会費+事務費)
雑 収 入	48,193	500	預金利息
繰 越 金	2,214,268	2,250,820	前年度より
合 計	4,712,461	4,961,320	

## 支 出

項	目	前年度決算	予 算	備 考
運 営 費	会 議 費	408,798	470,000	総務部会、幹事会、総会、四者連、 都教委、校長会等連絡会、教頭研究 協、その他諸会議
	印 刷 費	142,275	150,000	総会資料、コピー用紙等
	旅 費	0	175,000	全国大会(2名)他
	渉 外 費	40,220	60,000	友好団体会出席祝儀等
	全国会費	0	40,000	私立高校分
	運搬送料費	73,770	80,000	切手、諸資料配送、梱包袋
	資 料 費	78,600	80,000	読売・日本教育新聞各1年分(新聞負担)
	周年行事費	0	1,900,000	創立40周年基金、資料作成、次回大会 基金その他
	食 糧 費	0	20,000	本部役員会、幹事会等
	雑 費	26,416	30,000	全国教頭会費(4名分)他、事務用品等
	小 計	770,079	3,045,000	
維 持 費	慶 弔 費	197,562	120,000	退職記念品(9名)等、見舞金等
	人 件 費	790,000	830,000	全国分担金(実費1/10)
	家賃・光熱費	704,000	740,000	全国分担金(実費1/4)
	小 計	1,691,562	1,690,000	
	予 備 費	0	2,266,320	
	合 計	2,461,641	4,961,320	

### 3. 平成11年度 事業報告

平成12年 3月31日  
東京都立高等学校教頭会

#### 会 合

平成11年 4月15日(木)	総務部会(1)	エミール	出席	36名
5月14日(金)	第1回幹事会(1)	〃	〃	42名
6月10日(木)	総会・研究協議会	星陵会館	出席	128名
	懇談会	星陵会館	〃	85名
7月10日(月)	総務部会(2)	エミール	〃	28名
9月6日(月)	都立高校教頭研究協議会	都研(教育庁主催)	〃	全員
10月15日(金)	総務部会(3)	エミール	〃	27名
11月9日(火)	幹事会(2)	〃	〃	34名
平成12年 1月17日(月)	総務部会(4、特別委員)	〃	〃	29名
1月24日(月)	四者連絡会(校長・全定教頭・専任)	〃	〃	本会20名
	四者連絡会・懇談会	〃	〃	19名

#### 総務部会(年4回)

1. 規約に従って会運営の原案作成及び協議、各学区、各学科・各研究部との連絡調整を行った。
2. 第37回全国高等学校教頭会、総会・研究協議大会(秋田)実施の援助を行った。
3. 定期刊行物発行方針・企画・編集や都教育庁関係資料の会員への配布や研究等を行った。
4. 総務部会・幹事会・総会等には行政担当者の講話等を通して会員への理解を深めた。
5. 教育庁、全国高等学校教頭会、各種友好団体との情報交換に努め、相互理解を深めた。

#### 研究部会(定例日:毎月第1木曜日)

1. 全会員(214名)で組織し、管理運営研究部会(第1委員会35名、第2委員会37名)、高校教育研究部会(第1委員会37名、第2委員会34名)、生徒指導研究部会(第1委員会35名、第2委員会36名)の3部会6委員会に分れ、毎月第1木曜日に研究協議を行った。
2. 各委員会毎にテーマを設定し、その研究成果を「研究集録第26号」にまとめ、教育庁・校長・教頭(全・定)全員に配布をすると共に、各種友好団体に寄贈した。
3. 教育庁主催の教頭研究協議会に各委員会より各1論文、全国高等学校教頭会の全国大会(秋田大会)に各研究部から1論文(管理研第1、高校研第1、生徒研第2)の研究発表を行った。
4. 研究部会・委員会の活性化を図るため、各委員会毎に学区1名の研究連絡委員を引き続き選出し、協議内容の充実と全会員への浸透を図るよう努めた。

#### その他

1. 都教委と役員との話し合う会を設定し、指導部加藤明主任指導主事を囲んで協議会を7月15日に行い、相互の理解を深めた。
2. 第38回全国高等学校教頭会、総会・研究協議大会参加者1,086名中、東京から85名が参加した。

#### 刊行物

1. 平成11年度会員名簿	平成11年 6月10日	24P 600部	校長・全定教頭・都教委など
2. 総会資料(平成11年度)	平成11年 6月10日	12P 550部	校長・教頭・都教委など
3. 研究集録(第26号)	平成11年 8月3日	56P 750部	校長・全定教頭・都教委など
4. 研究協議会報告(第15号)	平成11年11月25日	62P 700部	校長・全定教頭・都教委など
5. 会報(第27号)	平成12年 3月20日	58P 550部	校長・教頭・都教委など

## 4. 総会・懇談会

### (1) 総会・研究協議会

6月10日(木) 14時30分～15時30分

於. 星陵会館

出席 会員 128名

来賓 4名

加藤 明 指導部主任指導主事

鈴木敏夫 都公立高校定通教頭会会長

上杉敏男 都公立高校事務長会会長

清水泰岳 都教育公務員弘済会理事長

司会: 齋藤信一郎(中野工業)

会長挨拶 東 益三(富士)

来賓挨拶 加藤 明先生

鈴木敏夫先生

上杉敏男先生

議事 議長: 山口正光(府中)

1. 平成10年度事業報告……………会 長
2. 平成10年度決算報告……………会 計
3. 平成10年度会計監査報告……………会計監査
4. 平成11年度役員選出……………会 長
5. 平成11年度部会組織……………会 長
6. 平成11年度全国役員の推薦……………会 長
7. 正副会長・全国会長候補 挨拶  
役員・常任幹事・研究部長・委員長  
事務局長・次長の紹介……………会 長
8. 平成11年度事業計画……………新会長
9. 平成11年度予算……………新会計
10. その他

※◎議事はいずれも異議なく承認された。

◎校長協会代表は重要会議があり、やむなく  
本年は欠席。

### (2) 講話 15時50分～16時50分

小田原 栄 人事部参事(人事企画)

人事考課を中心として長時間にわたり相  
当に踏み込んで話をされた。(以下要旨)

#### ①学校の活力アップ

- ・社会の要請は非常に強いものがある。
- ・現行の勤務評定制도는そのための活用が  
不十分。是正は不可欠。

#### ②自己申告制度

- ・面接を必須条件とする点に意義がある。
- ・教員の職務は自主性尊重という特色があ  
るので自己点検は一層強く要請される。

#### ③自然に行われる自己点検の欠点

・目標水準を低めに設定したり、成果を独  
善的に美化する傾向その他の誤差が一般に  
生まれやすい。

・計画的・継続的なシステムが不可欠。

#### ④新しい制度

- ・新制度は学校管理規程とも関連し重要。
- ・校長が経営方針を明示していくことがこ  
れらの施策全体の成否を左右する。

#### ⑤3段階を基本にした5段階評価

- ・評価の尺度は確かに難しいものがある。
- ・無理な順位づけのないよう簡素にした。

#### ⑥評価を行う第三者委員会設置も検討したが

- ・効果に疑問のあるため避けることとした。
- ・教育委員会自体が一般行政から独立した  
行政委員会である。

#### ⑦教頭が第1次評定者

- ・管理規程で教頭の位置付けは明確にした。  
堂々と第1次評定に当たるよう望む。

以上、学校の英知・英断をお願いしたい。

### (3) 教育懇談会 17時00分～18時30分

参加 87名

来賓 小田原 栄 人事部参事

星川敏充 学務部高校教育課長

佐藤 徹 指導部高校教育指導課長

加藤 明 同 主任指導主事

有賀泰修 人事部管理主事

小栗 洋 同

撰梅正人 同

桑木 健 同

上杉敏夫 都公立高校事務長会会長

◎例年以上に多数の来賓のご列席を頂いた。

#### ◎来賓挨拶

教育委員会挨拶(星川課長 その他)

全国教頭会会長挨拶 松野靖臣 北多摩

#### ◎新入会員紹介

定通からの転入教頭20名、新任教頭21名を  
紹介し、新入会員代表として

野津田 緒環光雄 (定通)

明 正 村井信彦 (新任)

の両教頭が挨拶した。

#### 《付、会員の異動》

3 / 31 退職 9名

4 / 1 校長栄進29名 含、10年11月1名

10 / 1 光丘 今濱勝久 上野忍岡校長へ

今橋美文 大森東教諭より

## 5. 幹 事 会

### 《第1回幹事会》

5月14日(金) 14時30分～17時

於、神楽坂エミール

出席者 66名中 44名

#### 【1】 講話 14時30分～14時50分

直原 裕 勤労課長

- ・人事考課問題の当面の状況  
検討委員会の動き、主なポイント、今後の見通しなど親しく説明された。

#### 【2】 会議

議長 百済 9学区常任幹事・小平南

1. 開会挨拶……………山口副会長
2. 会長挨拶……………東会長
3. 指導部連絡……………若井田指導主事
4. 平成10年度事業連絡……………鈴木会長
5. 平成10年決算報告……………吉兼・安藤新会計
6. 平成10年監査報告……………清水・矢嶋新監査
7. 平成11年度事業計画と予算案  
……………会長・会計
8. 平成11年度緊急連絡網……………事務局
9. 平成11年度役員組織(都・全国候補)  
……………東会長・白鳥全国会長
10. 平成11年度全国部会組織……………白鳥会長
11. 新旧役員挨拶……………都本部・全国三役
12. 全国高校教頭会報告……………松野副会長
13. 学区・学科・研究部の報告…常任幹事ほか
14. 事務局より(総会その他の連絡)
15. 閉会……………齋藤新副会長

#### コメント

◎幹事会は主に総会に提出する議案の審議を行う重要な会議

◎総務部会からの原案を承認

### 《第2回幹事会》

11月9日(火) 14時30分～17時

於、神楽坂エミール

出席者 66名中 33名

#### 【1】 講話 14時30分～14時50分

浪花武夫 職員課長

- ・人事考課について

検討委員会・関係団体のヒヤリング・都議会などの状況の説明と質疑。多くの質問や要望が出され、予定の2倍の時間を費やした。

- ・PTA他の関係団体からは概ね理解された。
- ・職員団体は検討経過・評価方法への異論のほか考課自体に反対との意見が強い。
- ・「実施できるかできないか」という声が多いが、これは都政上、解決すべき課題。「どうしたらやれるか」の意見が欲しい。
- ・主任の活用はここでも重要。文部省との関連を視野に入れつつ改善を図りたい。
- ・本人開示を保留せよとの強い要望は伺ったが、行政系との関連を見ながら検討する。

#### 【2】 会議

議長 納谷 2学区常任幹事・新宿

1. 開会挨拶……………山口副会長
2. 会長挨拶……………鈴木会長
3. 本年度上半期の事業報告……………鈴木会長
4. " 会計中間報告……………吉兼・安藤会計
5. " 中間監査報告……………清水・矢嶋監査
6. 教頭研究協議会報告……………山口副会長
7. 平成12年度行事計画……………齋藤副会長
8. 四者連絡協議会……………山口副会長
9. 全国教頭会報告……………松野全国会長
10. 会報27号執筆について……………事務局
11. 事務局より
12. 学区・学科・研究部の報告…常任幹事ほか
13. 閉会……………齋藤新副会長

#### コメント

◎都立高校の甲子園出場につき都庁内カンパ活動、校長協会・事務長会の対応などと歩調を合せて予備費から支援金を支出した。

◎関東地区研究協議会報告

11/5～6 於、茨城・大洗町

本会は4名参加(内、1名は自費)

管理運営・生徒指導のほか新教育課程への取組みにつき熱心に協議した。参加150名程で協議に丁度よい規模だった。

東海村の臨界事故のため、参加予定者から「会場は安全か？」との問い合わせが続き、主管の茨城県教頭会の担当者は対応に余計に忙しくなった由。

## 6. 総務部会

### 《第1回》

4月15日(木) 14時30分～17時  
於. 神楽坂エミール  
出席 35名中 28名

#### (1) 会議

司会 8学区常任幹事(代理)

1. 開会挨拶……………山口副会長
2. 会長挨拶……………東会長
3. 指導部の連絡……………加藤主任指導主事
4. 昨年度の活動の概況と  
教育庁関連の課題……………東会長
5. 平成11年度当初の会合日程……………事務局
6. 役員組織と部会組織の名簿……………事務局
7. 正副会長、会計、監査推薦……………東会長
8. 全国役員候補(三役)推薦……………東会長
9. 新旧役員挨拶(都、全国)……………新旧役員
10. 全国高校教頭会報告……………白鳥全国会長
11. 学区・学科の報告……………常任幹事
12. 研究部委員会報告……………部長・委員長
13. 事務局からの連絡……………事務局
14. 閉会挨拶……………山口副会長

#### コメント

- ◎例年通り旧総務部員と新役員候補で開催。  
人事異動のため7名が代理出席となる。
- ◎教育庁指導部 教頭会担当  
加藤 明主任指導主事となる。
- ◎新役員候補紹介の他、学区などの組織体制  
に関する指示・連絡事項が多い。
- ◎会員数214名 昨年比1名減  
(新宿山吹 2名から1名へ)
- ◎事務局人事 坪井稔治 次長退職 3/31  
高橋邦昌 次長着任 4/1

- (2) 教育懇談会 17時30分～19時30分  
引続き エミールにて  
出席 27名 栄進者1名  
松尾澤政明 野津田高校長(前高校研部長)  
にご出席頂いた。

### 《第2回》

7月9日(金) 14時30分～17時  
於. 神楽坂エミール  
出席 35名中 26名  
司会 10学区 佐藤文雄教頭(府中西)

1. 開会挨拶……………山口副会長
2. 会長挨拶……………鈴木会長
3. 都教委の連絡……………主任指導主事
4. 教頭会総会・懇談会会計について  
……………安藤・吉兼会計
5. 9月教頭研究協議会について  
……………山口副会長
6. 全国教頭会報告……………松野全国会長
7. 高知大会での都の研究発表について  
……………各研究部長
8. 都教頭会の活動報告(都教育委員会、四者  
協他)……………鈴木会長
9. 学区、学科、研究部の報告  
……………常任幹事・委員長
10. その他(日本教育会役員、他)  
……………鈴木会長他
11. 事務局より
13. 閉会挨拶……………斎藤副会長

#### コメント

- ◎九月教頭研究協議会の役割分担に関する連  
絡が多い。
- ◎上記報告書の編集は従来どおり全定共同で  
行うよう定通に要請することとした。
- ◎学区などの活動報告に平素以上に時間をか  
けることができた。  
管理運営規程の施行状況  
新教育課程の細部に関する質疑  
学事視察 企画や配慮について  
機械警備の留意点  
学校要覧、教職員の死亡・病休への対応  
の実際その他実務に関する事項  
など多岐にわたる情報交換がなされている  
ことが報告された。

### 《第3回》

10月15日(金) 14時30分～17時  
於. 神楽坂エミール  
出席 35名中 24名  
司会 1学区 三枝 隆教頭(九段)

1. 開会挨拶……………山口副会長
2. 会長挨拶……………鈴木会長
3. 都教委連絡……………加藤主任指導主事
4. 会計中間報告……………会計
5. 中間監査報告……………会計監査

6. 全国教頭会報告……………松野全国会長
7. 九月教頭研報告……………山口副会長
8. 四者連絡協議会……………鈴木会長
9. 平成12年度行事計画……………齋藤副会長
10. 全国大会主管県支援策……………鈴木会長
11. 私立高教頭への入会勧誘について  
……………鈴木会長
12. 研究活動費の報告及び研究部活動の活性化  
方策……………各関係者
13. 全国PTA連合会東京大会への協力依頼  
……………連合会会長
14. 今後の予定・他……………事務局
15. 学区・学科・研究部の報告……………各担当者
16. 閉会の挨拶……………齋藤副会長

コメント

◎国旗・国歌の件

加藤主任指導主事より全国と都の状況説明

- ・高校改革第2次計画、人事考課、国旗国歌を現在の三重点課題と考えている。
- ・国旗国歌は法制化されたこと、また、意義の大きさを考慮して校内に問題があれば教育庁全体の支援策を取る。
- ・社会教育の行事にも国旗を掲揚する。

◎全国大会申込み方法の変更（本会の原則）

主管県の負担軽減の要請に応え、12年度より学区別に参加費を取りまとめること、参加者名簿を送ることとした。

◎会員の異動（10/1）光丘高（P55参照）

《第4回》

12年1月17日（月） 14時30分～17時  
於 神楽坂エミール  
出席 35名中 28名

(1) 会議

司会 3学区 寺嶋幸子教頭（荻窪）

1. 開会挨拶……………山口副会長
2. 会長挨拶……………会 長
3. 指導部連絡……………加藤主任指導主事
4. 四者連絡会について……………山口副会長
5. 特別委員会報告……………特別委員
6. 全国教頭会の報告……………全国会長
7. 支部活動費の報告について……………会 計
8. 平成12年度の行事計画……………齋藤副会長
9. 校長会との話し合いについて……………会 長

10. 事務局からの連絡……………事務局長
11. 次年度への事務引継ぎ……………同次長
12. 学区、学科支部の報告……………常任幹事
13. 研究部会の報告……………部長・委員長
14. 閉会の挨拶……………齋藤副会長

コメント

◎指導部連絡 重要施策に関して教育庁の態度を踏み込んで説明された。

- ・国旗国歌についての最近の通達の法的性格は論議があるやに聞くが、広義の職務命令である。
- ・終業式の場で一教員のきわめて不適切な言動が見られた事例について。事実の性格から見て管理職の対応の仕方について、その判断に疑問を抱かせることのないようにされたい。
- ・教務研究協議会などの代理出席は安易にならぬよう教頭先生方をお願いする。
- ・春季休業日問題について。管理規則通りに改めるべく通知した後、取り消したことは大変申し訳ない。批判があればこの席で承りたい。

教頭の主な意見

管理職が説明を重ねて反対を抑えた。旧に復することに納得のいく説明が困難。教員間では組合の反対の結果との風評が強く今後大きな悪影響を及ぼす。

(2) 信念の乾杯

例年通り会議に続き、出席27名。

出席者はいずれも年度末まで解決すべき課題を抱えているため、会議中は意見交換が不十分だった点をこの席で補い、短時間であるが大変活発な雰囲気であった。

7. その他の会議

《教育庁指導部と役員の話合う会》

7月15日（木）加藤明主任指導主事を事務局をお招きし、学校経営や教頭会の諸活動について、率直なお話しを頂き、活発に質疑が交わされ有意義な2時間であった。

## 8. 特別委員会

会 長 鈴 木 國 夫

### 1. 日本教育会全国評議員

都支部理事

鈴木國夫（深川） 山口正光（府中） 齋藤信一郎（中野工）

都支部評議員

三枝 隆（九段） 納屋 信（新宿） 寺嶋幸子（荻窪） 宮島二郎（文京）  
藤松雄二（青井） 辻雄一郎（紅葉川） 大矢保雄（八王子高陵）  
櫻川紘久（武蔵村山） 百濟琢也（小平南） 佐藤 文（府中西）

### 2. 同和教育推進協議会委員

大澤紘一（南葛飾）

### 3. 都立高等学校基本計画検討委員会・専門部会委員

木嶋智恵（田園調布） 小林 聰（江東工業） 本間 豊（羽田工業）

亦木一彦（田柄） 矢島賢二（飛鳥） 小暮守雄（鮫津工業） 小林 勝（松が谷）

浅井康明（福生） 恩田 実（秋留台） 小倉幸夫（東村山西） 手打和明（第五商）

大森地区単位制高校基本計画をはじめとする11の専門部会に参画。

### 4. 東京都教職員互助会運営委員

近藤國男（小金井工）

### 5. 東京都公立高等学校PTA連合会相談役

鈴木國夫（深川）

都PTAの在り方、全国大会の東京都での開催の件等。

### 6. 東京都教育公務員弘済会（東京支部評議員）

鈴木國夫（深川） 山口正光（府中）

### 7. 東京都教育管理職等連絡会委員

鈴木國夫（深川）

職務上の任務に起因する訴訟の費用の貸付と学校教育の円滑な運営を図る。

事務局は東京都公立高等学校校長会事務局。

### 8. 東京都教育管理職等応訴費用貸付審査会委員

山口正光（府中）

職務上の任務に起因する訴訟の費用の貸付の可否及び貸付額の審査を行う。

### 9. 都立学校教育活動経費等検討委員会設置に伴う検討委員

山口正光（府中）

### 3. 主な活動報告

#### 1. 全国高等学校教頭会

##### 1. 会 合

11年5月11日(火)	監査・本部員打合せ	東京・事務局	4 県	12名
25日(火)	第1回全国総務部会	東京・アルカディア市ヶ谷	6 県	19名
6月4日(金)	地区研究協議会(全国)	” ”	46県 2 市	93名
” ”	第1回総理事研究協議会	” ”	” ”	” ”
7月6日(火)	第2回全国総務部会	” ”	6 県	16名
28日(水)	研究部会(副部長会)	高知・高知会館	10県	16名
”	第2回総理事研究協議会	” ”	47県 3 市	86名
29日(木)	総会・研究協議大会(第1日)	”・駒田民会館他	47県 4 市	1,037名
30日(金)	研究協議大会(第2日)	” ”	” ”	” ”
10月12日(火)	中間監査・本部員打合せ	東京・事務局	3 県	10名
19日(火)	第3回全国総務部会	東京・アルカディア市ヶ谷	5 県	15名
11月11日(金)	全国常任理事会	東京・アルカディア市ヶ谷	15県	25名

##### 2. 地区協議会

北海道地区①	5月20日～21日	北見支部主管	近畿地区①	7月2日～3日	和歌山県主管
” ”	②11月24日	札幌支部 ”	” ”	②10月27日	奈良県 ”
東北地区	10月21日～22日	山形県 ”	中国地区	8月11日～12日	広島県 ”
関東地区	11月5日～6日	茨城県 ”	四国地区	非開催年	” ”
中部地区	11月26日～27日	新潟県 ”	九州地区	10月21日～22日	福岡県 ”
東海地区	11月15日	静岡県 ”			

##### 3. 刊 行 物

発表資料集	第19号	平成11年7月7日	104頁 2,100冊	参加者・県教委・県校長会に配布
全国要覧	第22号	” 9月11日	51” 6,100冊	会員・県教委・県校長会に配布
会 報	第56号	” 10月2日	12” 6,050冊	” ” ”
全国大会集録(高知県)	”	” 11月25日	134” 6,050冊	” ” ”
研究集録	第24号	” 10月29日	127” 6,050冊	” ” ”
調査研究集	第23号	” 10月29日	63” 6,050冊	” ” ”
会 報	第57号	平成12年1月10日	16” 6,200冊	” ” ”

##### 4. 研 究 発 表

16県24題(東京3題、秋田3題、群馬2題、高知2題、佐賀2題、11県各1題)

	全 国 大 会					研 究 集 録			計
管理運営	島根	長野	東京	北海道	高知	群馬	埼玉	神奈川	8 県 8 題
高校教育	東京	山形	愛知	愛媛	高知	北海道	兵庫		7 県 7 題
生徒指導	大阪	東京	千葉	大分	高知	北海道	岐阜	愛知 長崎	9 県 9 題

## 2. 都立高校教頭研究協議会 (教育庁指導部主催)

本研究協議会は、今年で30年を迎えた。昭和45年学校紛争を期に始まり、当初1泊2日、後に2泊3日の宿泊研修として実施されてきた。

その後、場所を都立教育研究所に移し、2日間にわたり実施されるようになった。平成4年度から、教育庁所管事項を別の機会に行うことにより、全体会・分科会を1日にまとめて実施してきた。

今年は9月6日(月)に都立教育研究所において行われた。本年より諸般の事情で、午後からの半日の研究協議会になり、分科会の後、全体会での指導部挨拶・講話・人権尊重の話の順序で実施された。

研究協議会を実施するに当たり、以下の日程で準備のための運営委員会を持った。

- 6月8日(火) 第1回 運営委員会  
都庁第2庁舎  
運営委員全員
- 7月6日(火) 第2回 運営委員会  
都庁第2庁舎  
運営委員全員
- 9月2日(木) 第3回 運営委員会  
都立教育研究所  
運営委員全員及び会場・記録責任者

### 実施要項

#### 1. 趣 旨

時代の進展や地域社会の実態、生徒の特性などに応じた創意工夫のある教育活動を展開するとともに、都立高校改革推進計画を踏まえ、都立高等学校の個性化・特色化を図り、都民の期待に応え得る高等学校教育を推進するため、当面する教育課程についての研究協議を行い、教頭としての識見を高め、各都立高等学校の学校運営並びに教育指導の充実に資する。

#### 2. 日 時

平成11年9月6日(月)  
13:15~16:30

#### 3. 場 所

都立教育研究所

4. 参加対象 都立高等学校教頭 318名  
全日制課程 214名(副校長・舎監長を含む)

定時制・通信制課程 104名

#### 5. 内 容

中心課題：都民の期待に応える都立高校の創造

－開かれた都立高校を目指して－

#### 6. 分 科 会

当面する教育諸課題について6分科会を設け、提案に基づいて研究協議を行う。

- 第一分科会 学校における危機管理  
第二分科会 教頭の職務  
第三分科会 総合的な学習時間について  
第四分科会 新しい高等学校像を求めて  
第五分科会 問題事例の分析と防止策について  
第六分科会 生徒指導の体制と実態

#### 7. 全体会

講話等を通じて、これからの高等学校教育の改革、改善と発展を図る視点や発想を新たにするとともに、人権尊重教育を踏まえた学校経営に関する識見を高める。

##### (1) あいさつ

指導部高等学校教育指導課長  
佐藤 徹先生

##### (2) 講 話「学校を取り巻く、学務部の課題」

学務部高等学校教育課長 大崎徳三郎先生

##### (3) 「人権尊重の話」

指導部主任指導主事 加藤 明先生

##### (4) あいさつ

東京都公立高等学校定通教頭会  
鈴木 敏夫

東京都立高等学校教頭会

鈴木 國夫

副会長 齋藤 信一郎

(中野工)記

### 3. 四者協議会・四者懇談会

第15回四者連絡協議会は、平成12年1月24日（月）、午後2時30分より、神楽坂エミールにおいて開催された。来賓として都教育庁より、指導部高校教育指導課長佐藤 徹、体育部保健給食課学校健康担当副参事高橋公夫のお二人に、お忙しい中をご出席いただいた。各会からの提案事項は次の通りであった。

#### [事務長会]

#### 1. 事務長の職位・職責の位置付けに関して

事務長は、校長を頂点として教頭とともに学校経営の三役であり、学校業務全般にわたる意志決定過程の管理監督者として重要な責務を負っている。校長のリーダーシップを補完する職能として、その責任と権限を行使するためにも、全事務長を課長補佐と管理職員等に位置付けて欲しい。

#### 2. 事務室組織の整備に関して

事務室長校には庶務係と経理係の二係制が設置され、それぞれに庶務・経理係長が配置されているが、事務長校には、一部の学校に経理担当係長が配置されているにすぎない。地域と連携した開かれた学校づくりや、中教審答申の学校の自主性・自律制の確立を公平なものにするためにも、二係制が実施されるまでは経理担当係長を全校配置していただきたい。

#### 3. 事務職員定数の適正配置に関して

私費会計（積立金、PTA会費）については、公費（授業料）と同額近くになり、その執行も公費会計と同じ手続きで処理するため、かなりの負担になっている。その上、開かれた学校の推進のため、広報・サービスの窓口としての組織対応や生涯教育・防災・進路対策等への対応、個性化・特色化の学校教育を一層充実させるためにも、一律、学級数で算定する事務職員の定数方式を新たな視点で検討していただきたい。当面、嘱託員を文書扱い校だけでなく、学校の事情を考慮し、配置していただきたい。

#### [全日制教頭会]

都立高校について、より良い学校改革を推進するためには、学校現場と都教育委員会の緊密な協力関係が大切である。そのためには、教頭のモラルアップをはかることが重要であり、次の要望を通してその実現を願うと同時に、活

力ある都立高校の再生に努力を傾注したい。

1. 教頭職務の効率化について。(1)副校長（実質増員）または教頭複数制の早期実現。(2)各種調査項目日の整理・統合。2. 学校運営などについて。(1)機械警備の導入に伴う、出勤簿に変わるIDカード等の早期導入。(2)教員の特殊業務手当の増額。(3)全都立高校の教育の早期冷房化。3. 教頭の待遇改善について。(1)管理職手当15%の早期実現。(2)長期在任教頭の単色時の優遇措置と退職時の再雇用ポストの開拓。

#### [定通教頭会]

1. 定通教職員の重質。(1)異動促進。①新採以来の定時制教諭を全日制へ異動。②一度は定時制・通信制を経験させる。(2)学級減による教員定数減への対応。①定数+加配。②養護教諭の配当（又は嘱託員の配置）。2. 定通施設設備の充実。(1)給食室に空調設備。(2)定時制専用特別室（教室・進路指導室・相談室）の充実。3. 定通教育補助金の拡大と増額。(1)修学旅行補助金の対象者の拡大と増額。(2)給食補助金（従来通りで）。4. 学校運営その他。(1)IDカードまたはタイムカードの導入（全・定通共通）。(2)定通教頭の各種会合を午後に設定。(3)機械警備の円滑な導入のための予算措置(4)部活動費の増額

#### [校長協会]

1. 学校経営への具体的方策。(1)複数教頭制の実施。(2)事務長の管理職等への位置付け。(3)各主任の中間管理職への位置付け。(4)学校の特色化と教員の異動。2. 新教育課程への対応。(1)必修クラブ廃止に伴う激減緩和策。(2)地域との連携のための全都的施策。

各会の説明後、質疑と指導・助言に入り、まず、高橋副参事からは、定時制関係について(イ)来年度は、給食関係での補助金の減額が実施されるが、今の財政招待では復活することは難しい。(ロ)空調については、改修に伴って導入しているようである。などのご指導をいただいた。次に、佐藤課長から、(イ)事務長が広報・サービスの窓口として自覚していただいていることはありがたいことであり、報告書の中の有益な提言については、今後の進行の中で大いに努力していく。(ロ)教頭会の職務の効率化の中での(2)については、常に迷惑をかけている。組織の縦割りの中での、仕方のない部分もある

が、これからの組織の改編の中で、改善・見直しされると思う。(ハ) 定通の修学旅行の補助金については、学校マニュアルの中で述べられているが、5 専門部会が設置され、学校徴収金について議論されている。いずれにしても、費用の安いものでし、行事としてこれからも続けられるか同化の加点が大切である。(ニ) 校長会の、主任については、自覚を持って研修に励んでもらえる方が任命されることが望ましい。必修クラブについては、都でも激減緩和策に関し、予算の面で苦勞しているが、新学習指導要領の関連でなくなってしまうとの観点もある。実際には、部活動が充実している学校への傾斜配分を必要であろう、との指導をいただいた。

以上概略について述べたが、総じて、現在の都の財政状態が施策の面に大きな影響を与えていることは否めない。ただ、教育は、これからの日本を担う子供たちの資質向上・育成のために行われるのであるから、最重点項目として、予算措置して頂きたい。私達も、そういった心構えで教育に当たって行かねばならない。

終了後懇親会に入り、教育庁から中島教育長、中野次長他13名の部長、参事、副参事、課長な方々にご参加いただき、全体で 150名が参加した。テーブルを囲みながら、来年度の教育施策や課題についての都立高校の現状分析や、社会情勢についての話題に話が弾み、昨年以上の盛り上がりの中で幕を閉じることが出来た。

副会長 山口正光（府中）記



## 4. 学区別支部教頭会報告

### 1. 第1学区高校教頭会

#### 第1回定例会

平成11年4月20日(木) 14時～17時

蒲田高等学校 出席者21名

1. 指導部連絡(学区担当:荒川指導主事)
2. 都教頭会より
  - ・研究部会の所属等
3. 学区教頭会より
  - ・電話連絡網の確認等
4. 学区PTA連合会より
5. 情報交換

#### 第2回定例会

平成11年5月18日(木) 14時～17時

大森東高校 参加18名

1. 指導部連絡
2. 都教頭会より
3. 学区教頭会より
4. 学区PTA連合会より
5. 情報交換

#### 第3回定例会

平成11年6月22日(火) 14時～17時

芝商業高校 参加19名

1. 指導部連絡
2. 都教頭会より
3. 学区教頭会より
4. 学区PTA連合会より
5. 情報交換

#### 第4回定例会

平成11年7月12日(月) 14時～17時

港工業高等学校 参加19名

1. 指導部連絡
2. 都教頭会より
3. 学区教頭会より
4. 学区PTA連合会より
5. 情報交換

#### 夏季管外視察

平成11年8月23日(月)～24日(火)

三重県立昴学園高校、伊勢高校 参加19名

#### 第5回定例会

平成11年9月16日(木) 14時～17時

羽田工業高校 参加19名

#### 1. 指導部連絡

#### 2. 都教頭会より

#### 3. 学区教頭会より

#### 4. 学区PTA連合会より

#### 5. 情報交換

#### 第6回定例会

平成11年10月21日(木) 14時～17時

鮫津工業高校 参加20名

#### 1. 指導部連絡

#### 2. 都教頭会より

#### 3. 学区教頭会より

#### 4. 学区PTA連合会より

#### 5. 情報交換

#### 第7回定例会

平成11年11月18日(木) 14時～17時

一橋高校 参加18名

#### 1. 指導部連絡

#### 2. 都教頭会より

#### 3. 学区PTA連合会より

#### 4. 情報交換

#### 第8回定例会

平成11年12月10日(金) 14時～17時

日比谷高等学校 参加17名

#### 1. 指導部連絡

#### 2. 都教頭会より

#### 3. 学区教頭会より

#### 4. 学区PTA連合会より

#### 5. 情報交換

#### 第9回定例会

平成12年1月20日(月) 14時～17時

九段高校 参加20名

#### 1. 指導部連絡

#### 2. 都教頭会より

#### 3. 学区PTA連合会より

#### 4. 情報交換

#### 第10回定例会

平成12年2月10日(木) 14時～17時

三田高校(予定)

#### 第11回定例会

平成12年3月9日(木) 14時～17時

赤坂高校(予定)

常任幹事 三枝 隆(九段)記

## 2. 第2学区高校教頭会

### ○[第1回定例会]

平成11年4月20日(木) 14時～17時

玉川高校

1. 指導部(学区担当:上山、金子指導主事)  
挨拶・高指課異動・事務分担・諸連絡
2. 学区教頭会役員選出  
常任幹事(納屋:新宿)  
学区幹事(田中:松原、大河内:深沢)  
会計(吉兼:園芸)
3. 自己紹介
4. 協議・情報交換  
月例会会場確認・研究部所属決定等

### ○[第2回定例会]

平成11年5月18日(火) 14時～17時

千歳丘高校

1. 指導部
2. 第1回幹事会報告
3. 協議・情報交換  
勤務時間・企画調整会議の現状・8月学事視察等

### ○[第3回定例会]

平成11年6月22日(火) 14時～17時

明正高校

1. 指導部
2. 協議・情報交換  
学区PTA引継ぎ・人事考課の現状等

### ○[第4回定例会]

平成11年7月12日(月) 14時～17時

深沢高校

1. 指導部
2. 協議・情報交換  
学校要覧の記載内容・教頭研修会内容等

### ○[教頭研修会Ⅰ]

平成11年8月11日(水) 14時～17時

新宿山吹高校

1. 新宿山吹高校の概要
2. 教員の人事考課について  
講師:安井幸生 新宿山吹高校校長
3. 研究協議
4. 情報交換・諸連絡

### ○[第5回定例会]

平成11年9月16日(木) 14時～17時

小石川工業高校

### 1. 指導部

### 2. 協議・情報交換

2学区P連宿泊研修・学校運営連絡協議会試  
行校等

### ○[第6回定例会]

平成11年10月21日(木) 14時～17時

芸術高校

1. 指導部
2. 幹事会報告
3. 協議・情報交換  
四者連絡会要望事項・学校説明会等

### ○[教頭研修会Ⅱ・第7回定例会]

平成11年11月18日(木) (1)研修会14時～15時、  
(2)定例会15時～17時

世田谷工業高校

### (1) 研修会

1. 中村学園中・高等学校の人事考課について  
講師:清水益太郎 中村学園中・高校長

### 2. 質疑応答

### (2) 定例会

1. 指導部
2. 幹事会報告
3. 協議・情報交換  
インターンシップ等

### ○[第8回定例会]

平成11年12月10日(金) 14時～17時

烏山工業高校

1. 指導部
2. 幹事会報告
3. 協議・情報交換  
コーチングスタッフ出版社の出版物・総合的  
な学習の時間等

### ○[第9回定例会]

平成12年1月20日(木) 14時～17時

砧工業高校

1. 指導部
2. 幹事会報告
3. 協議・情報交換  
3月例会日程・情報教育アドバイザー等

### ○[第10回定例会]

平成12年2月10日(木) 14時～17時

市ヶ谷商業高校予定

常任幹事 納屋 信(新宿)記

### 3. 第3学区高校教頭会

#### 第1回定例会

平成11年4月20日(火) 14時～17時

練馬高校 24名出席

1. 指導部連絡 高指課事務分担・異動他
2. 異動紹介 転入5名
3. 役員選出 常任幹事 寺嶋(荻窪)  
幹事 筒井(大泉北)  
正角(武蔵丘)  
会計 佐々木(農芸)
4. 協議・情報交換  
全国教頭会、都教頭会、月例会、研究部会、  
会費徴収等

#### 第2回定例会

平成11年5月13日(木) 14時～17時

武蔵丘高校 17名出席

1. 指導部連絡 事故報告・高卒者採用選考・  
初任者研修・司書教諭講習
2. 協議・情報交換  
土曜日の図書館開館について・部活動手当  
について・業務、服務監察について等

#### 第3回定例会

平成11年6月22日(火) 14時～17時

杉並工業高校 19名出席

1. 指導部連絡 指導要領・出席簿の記入、事  
故報告、学校外学習の単位認定、各会議・  
研修日程、暴走族情報等
2. 協議・情報交換  
学事視察、都教頭会の総会・研究協議会開  
催について、業務・服務監察、出勤監査、人  
事考課、機械警備等

#### 第4回定例会

平成11年7月12日(月) 14時～17時

練馬工業高校 18名出席

1. 指導部連絡 生指研、国旗・国歌、事故報  
告、合宿等の実施計画書、夏季休業日の生  
活指導等
2. 協議・情報交換  
都・全国教頭会総務部会報告、人事考課、  
勤務時間の割り振り、長期休業中の教員動静  
表、卒業式の形態、生指研等

#### 第5回定例会

平成11年9月16日(木) 14時～17時

杉並高校 22名出席

1. 指導部連絡 継続研修申請・報告の不備、  
緊急雇用対策として情報教育アドバイザー  
配置
2. 協議・情報交換  
人事考課、学校運営協議会、3学区P連の  
研修会、特別昇給、学校案内について

#### 第6回定例会

平成11年10月21日(木) 14時～17時

大泉北高校 19名出席

1. 異動紹介 昇進1名、転入1名
2. 指導部連絡 事故報告、文化祭等における  
飲食物の取扱い、進路指導調査依頼、放置  
自転車キャンペーン、生徒表彰の推薦等
3. 協議・情報交換  
四者協提案資料、PTA連合会東京大会、  
就学計画、教頭会研修報告(府中刑務所  
視察)、必修クラブ予算、習熟度別授業、  
争議行為等

#### 第7回定例会

平成11年11月18日(木) 14時～17時

第四商業高校 20名出席

1. 指導部連絡 事故報告、人権に配慮、情報  
教育アドバイザー、学校設置教科・科目等
2. 協議・情報交換  
来年度の持ち時数18時、教頭研修年4回、  
業務・服務監察、争議行為等

#### 第8回定例会

平成11年12月10日(金) 14時～17時

光丘高校 20名出席

1. 指導部連絡 事故報告、学期末の授業日、  
調査書の記入について、スキー教室につい  
て、教務研、卒業式・入学式の適正な実施  
等
2. 協議・情報交換  
機械警備、来年度予算・人事について、国  
旗・国歌の件、春季休業日の終期の件

#### 第9回定例会

平成12年1月20(金)14時～17時

井草高校 20名出席

1. 指導部連絡 事故報告、進級・卒業の認定について、12年度授業公開、教育課程事前相談、卒業証書の作成について等
2. 協議・情報交換  
都教頭会12年度行事予定等、行事等の来賓について、学期末の特別指導期間について、国旗・国歌について等

#### 第10回定例会

平成12年1月22日(木)14時～17時

西高校にて開催予定

#### 学事視察

平成11年8月5日(木)

8月6日(金)1泊2日

新潟県立の特色ある高校を視察。

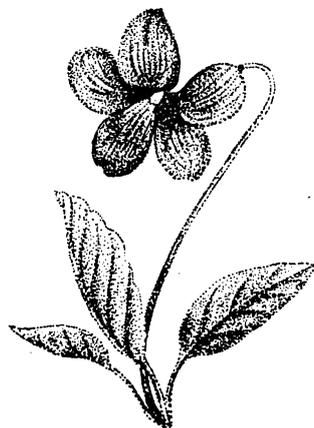
新潟商業 職業高校として4年生大学に進学の道を開いている学校。

巻農業 猛暑の中、シクラメン・胡蝶蘭の温室栽培を見学。汗びっしょり。

長岡 学年と進路の協力体制で成果をあげている。

国際情報 生徒の海外研修実施。国際文化と情報学科で12学級。

常任幹事 寺嶋幸子(荻窪)記



#### 4. 第4学区高校教頭会

##### 第1回定例会

平成11年4月20日(木)14時～17時

城北高校 出席者17名

1. 会場校 萩原校長挨拶
2. 指導部、高橋指導主事、宇都宮指導主事挨拶、連絡(国旗国歌、体育的行事、学校要覧開示等)
3. 総務部会報告
4. 協議・情報交換  
学区幹事・研究部委員決定、学会会計報告  
特殊業務手当、研究資料費

##### 第2回定例会

平成11年5月18日(火)14時～17時

飛鳥高校 出席者18名

1. 会場校 和田校長挨拶
2. 指導部諸連絡(体育活動の事故防止等)
3. 幹事会報告
4. 協議・情報交換  
国旗国歌、PTA、管理運営規程、修学旅行、人事考課

##### 第3回定例会

平成11年6月22日(火)14時～17時

北園高校 出席者 名

1. 会場校 増田校長挨拶
2. 指導部諸連絡(出席簿の氏名の扱い等)
3. 協議・情報交換  
監査、学修の単位、周年行事、生徒事故、生徒指導研レポート、同和研、通所研修、暴走族

##### 第4回定例会

平成11年7月12日(月)14時～17時

板橋高校 出席者18名

1. 会場校 石井校長挨拶
2. 指導部諸連絡(学習指導要領移行措置等)
3. 総務部会報告
4. 協議・情報交換  
授業持ち時数、学習指導要領の移行措置、海外旅行

##### 第5回定例会

平成11年9月16日(木)14時～17時

北野高校 出席者18名

1. 会場校 高橋校長挨拶
2. 指導部諸連絡(開示請求、情報教育アドバザー等)

### 3. 協議・情報交換

新学習指導要領、総合的な学習の時間、学区PTA

#### 第6回定例会

平成11年10月21日(木) 14時～17時

高島高校 出席者16名

1. 会場校 小林校長挨拶
2. 指導部諸連絡(文化祭、進路指導等)
3. 総務部会報告
4. 協議・情報交換

休暇、学区PTA、職員健康診断、習熟度授業

#### 第7回定例会

平成11年11月18日(木) 14時～17時

大山高校 出席者17名

1. 会場校 岡村校長挨拶
  2. 指導部諸連絡
  3. 幹事会報告
  4. 協議・情報交換
- 文書管理、人事考課、教育課程の移行、情報教育アドバイザー、国旗国歌、学区PTA

#### 第8回定例会

平成11年12月10日(金) 14時～17時

文京高校 出席者18名

1. 会場校 鈴木校長挨拶
  2. 指導部諸連絡(部活動指導員、春季休業日の終期等)
  3. 協議・情報交換
- 2000年問題、生徒台帳、私費会計、総合的な学習の時間

#### 第9回定例会

平成12年1月20日(木) 14時～17時

牛込商業高校 出席者18名

1. 会場校 山田校長挨拶
  2. 指導部諸連絡(春季休業日の終期、特別指導期間中の扱い、総合的な学習の時間、授業公開等)
  3. 総務部会報告
  4. 協議・情報交換
- 第10回定例会  
講師時数、春季休業日の終期、国旗国歌

常任幹事 宮島二郎(文京)記

### 5. 第5学区高校教頭会

第1回定例会 平成11年4月20日(火)

竹台高校 出席者18名

1. 都教委諸連絡(高指課異動、学区担当、事務分担、研修会等の日程、危機管理等)
2. 総務部報告(教頭異動状況、学区教頭会組織編成、所属研究部の確認と変更等)
3. 協議・情報交換(財務・服務監察等)

第2回定例会 平成11年5月18日(火)

蔵前工業高校 出席者16名

1. 都教委諸連絡(事故報告・苦情等、継続研修名簿不登載、時間割の提出、新学習指導要領、学校外の単位の認定等)
3. 協議・情報交換(学区各校の監察状況、機械警備の導入、体育館開放状況、管理主事の学校訪問状況等)

第3回定例会 平成11年6月22日(火)

晴海総合高校 出席者13名

1. 都教委諸連絡(指導要・出席簿の記入について、初任者研修等)
2. 協議・情報交換(新学習要領の移行措置、機械警備への対応、生指研の様子と資料等)

第4回定例会 平成11年7月12日(月)

台東商業高校 出席者16名

1. 都教委諸連絡(クラブ活動の廃止、新学習指導要領への対応、ホームページ等)
2. 総務部報告(四者連絡会提案事項、平成11年度教頭研究協議会について等)
3. 協議・情報交換(財務・服務監察等)

#### 学区教頭会研修旅行

平成11年7月31日(土)、8月1日(日)

週休日に茨城県五浦方面へ、参加者9名

第5回定例会 平成11年9月16日(木)

荒川工業高校 出席者12名

1. 都教委諸連絡(文化祭体育祭の指導について、児童生徒の表彰候補者の推薦、総合的な学習の時間、各種会議・研修会等の日程)
2. 協議・情報交換(新教育課程編成の進捗状況、必修クラブ廃止に伴う点、体験入学の日時等)

第6回定例会 平成11年10月21日(木)

忍岡高校 出席者16名

1. 都教委諸連絡(9月の事故等の概要、事例文化祭等における飲食物の取り扱い、進路指

導に係わる調査依頼、駅前放置自転車クリーンキャンペーンについて)

2. 総務部報告(卒業式・入学式の適正な実施について、情報教育アドバイザーの派遣について、トライ・アンド・チャレンジ月間について)
3. 協議・情報交換(情報教育アドバイザー有効活用について、都立高等学校合同説明会の成功に向けて、献本の調査依頼)

#### 第7回定例会 平成11年11月18日(木)

上野忍岡高校 出席者16名

1. 都教委諸連絡(10月の事故報告等、来年度の管理職研修等)
2. 総務部報告(浪花職員課長「人事考課制度」の講演要旨について、四者連絡会の提案事項の検討等)
3. 協議・情報交換(授業公開について各校の様子と課題、校長・教頭研修に臨むに当たって、人事考課制度を如何に推進するか)

#### 第8回定例会 平成11年12月10日(金)

江北高校 出席者16名

1. 都教委諸連絡(年末・年始における生活指導、学期末の授業日の取り扱い、平成12年度学期末の授業日の取り扱い、平成12年度春季休業日の終期について、情報アドバイザー、就職内定状況等)
2. 協議・情報交換(部活動アドバイザー派遣各校の履修条件は、授業料未納者の取り扱い、機械警備導入校の準備状況等)

#### 第9回定例会 平成12年1月20日(木)

足立高校 出席者17名

1. 都教委諸連絡(卒業証書の作成、東京の教育21、研究員の発表会への参加、生指研の報告、事故報告、教育課程関係等)
2. 総務部報告(指導部からの連絡、年間行事計画、支部活動費の報告等)
3. 協議・情報交換(斎藤尚也指導部長の講話「今日の教育課題に対応する教頭の役割」と質問会。厳しい中にも暖かさのある、参加者全員が使命感を新たにされた会合であった。)

#### 第10回定例会 平成12年2月10日(金)

荒川商業高校の予定

常任幹事 藤松雄二(青井)記

## 6. 第6学区高校教頭会

#### 第1回定例会 平成11年4月20日(火)

墨田工業高校 出席者26名

1. 開会、新役員紹介
2. 会場校挨拶
3. 指導部挨拶・諸連絡(6学区担当石井指導主事・薄井指導主事)
4. 新任紹介(両国、本所、水元、葛西西、篠崎、向島商、江東商、向島工、本所工)
5. 都教頭会連絡・報告 研究部連絡係選出 総務部報告
6. 研究部会報告
7. 協議・情報交換(国旗・国歌、8月の研修視察、研究部会の活性化)
8. 歓送迎会について

#### 第2回定例会 平成11年5月18日(火)

城東高校 出席者26名

1. 会場校挨拶
2. 指導部連絡・報告
3. 学区幹事連絡・報告(人事部直原勤労課長講話…教員の人事考課の報告)
4. 都教頭会連絡・報告(日本教育会加入、応訴費用、都総会、全国大会)
5. 研究部報告
6. 協議・情報交換(機械警備、初任研、学校要覧、研修視察)

#### 第3回定例会 平成11年6月22日(火)

農産高校 出席者24名

1. 会場校挨拶
2. 指導部連絡・報告
3. 学区幹事連絡・報告(都総会・研究協議会、国旗・国歌、教頭研修、人事考課)
4. 研究部報告
5. 協議・情報交換(移行措置、必修クラブ、総合的な学習の時間、研修視察、業務サービス監察、同和教育研究協議会)

#### 第4回定例会 平成11年7月12日(月)

向島工業高校 出席者24名

1. 会場校挨拶
2. 指導部連絡・報告
3. 学区幹事連絡・報告(総務部会…教頭研究協議会、全国大会、四者連、人事考課アンケート、第二次適正化計画)
4. 研究部会報告
5. 協議・情報交換(学区問題、必クラ廃止、卒業単位、授業料減免除とPTA会費の関係、研修視察)

#### 第5回定例会 平成11年9月16日(木)

葛飾野高校 出席者27名

1. 会場校挨拶
2. 新任紹介(科学技術高)
3. 学区幹事報告・連絡(全国大会、教頭研究協議会、人事考課アンケート集計結果)

4. 研究部会報告 5. 協議・情報交換（授業料減免とPTA会費の関係、研修視察報告、連絡 事故報告、城東高野球部甲子園出場報告）

第6回定例会 平成11年10月21日（木）

江東工業高校 出席者20名

1. 会場校挨拶 2. 指導部連絡・報告  
3. 学区幹事連絡・報告（総務部会・・・指導部加藤明主任指導主事挨拶、全国PTA連東京大会、12年度行事予定表）  
4. 研究部会報告 5. 協議・情報交換（争議行為、必修クラブ予算、人事考課、業務サービス監察、管理運営規程）

第7回定例会 平成11年11月18日（水）

葛西工業高校 出席者23名

1. 会場校挨拶 2. 指導部連絡・報告  
3. 学区幹事報告・連絡（幹事会・・・人事部浪花職員課長講話、12年度管理職研修）  
4. 研究部会報告 5. 協議・情報交換（情報教育アドバイザー、授業公開、機械警備、必修クラブ廃止と生徒会費、四者連への要望）

第8回定例会 平成11年12月10日（金）

向島商業高校 出席者24名

1. 会場校挨拶 2. 指導部連絡・報告  
3. 都教頭会連絡・報告 4. 研究部会報告  
5. 協議・情報交換（情報教育アドバイザー、総合的な学習時間の設置、12年度研修視察、必修クラブ廃止に伴う生徒会費値上げ、2000年問題、業務サービス監察、次年度以降当番校一覧表）

第9回定例会 平成12年1月20日（木）

第三商業高校 出席者22名

1. 会場校挨拶 2. 指導部連絡・報告  
3. 学区幹事連絡・報告（総務部会・・・国旗・国歌、春期休業日の終期の取扱い、指導部12年度事業、教頭会12年度行事計画）  
4. 研究部会報告  
5. 協議・情報交換（春期休業日の終期の変更）

第10回定例会 2月10日（木） 東高校

第11回定例会 3月13日（月） 篠崎高校

## 7. 第7学区高校教頭会

第1回定例会 平成11年4月20日（火）

八王子高陵高校 出席者20名

1. 堀（会場校）校長挨拶 2. 高田指導主事挨拶・連絡（事故報告、進級苦情、調査書の誤記、文書管理・報告すべき事項と主管課長、宿泊を伴う学校行事、周年行事） 3. 情報交換（障害を持つ生徒の有無、学校要覧の削除事項、富士登山経験校、禁煙室等）

第2回定例会 平成11年5月18日（火）

八王子労政会館 出席者20名

1. 幹事会報告会 2. 指導部資料について・生指研・教務研は毎会主任の出席、投棄休業日始・春期休業日始の確認、人事考課等 3. 情報交換（勤務時間の割振り、防災非常時参集体制の状況、弁護士費用等）

第3回定例会 平成11年6月22日（火）

忠生高校 出席者20名

1. 小泉（会場校）事務長挨拶 2. 高田指導主事挨拶・資料説明、障害のある生徒の在籍状況について、生活指導連絡協議会報告、暴走族と暴力団の繋がり・絶対に入らない指導 3. 幹事会報告、人事考課についてのビデオ研修 4. 協議情報交換・職員健診の養護教諭の関わり、実習助手の要覧上の扱い、研修図書費、妊娠初期休暇の扱い等。

第4回定例会 平成11年7月12日（火）

片倉高校 出席者17名

1. 佐藤（会場校）校長挨拶 2. 指導部報告（川村教頭より）生指研・プールでの事故報告）・卒業式・入学式に於ける国旗・国歌の徹底。 3. 幹事会報告・人事考課、教頭研究協議会、全国大会参加及び発表、多摩地区教頭会夏季研究協議会の参加等。

第5回定例会 平成11年9月16日（火）

八王子北高校 出席者17名

1. 重政（会場校）校長挨拶 2. 高田指導主事挨拶・生指研・教務研・事故報告・学校連絡協議会H13年までに完了し、コンピュータ補助員、国旗・国歌通知文、明るい話題高指導課へ 3. 幹事長報告・多摩学区教頭会のありかたについて、9/30 普通科教頭会研修会 4. 情報交換（同和教育、業務サービス監察報告、沖縄修学旅行・学校祭

常任幹事 辻勇一郎（紅葉川）記

準備期間の授業形態、講師の勤務振替え等。

#### 第6回定例会 平成11年10月21日(木)

八王子東高校 出席者18名

1. 殿前(会場校)校長挨拶 2. 川村幹事挨拶・報告(卒業式・入学式の適正化、情報教育アドバイザー、全P連東京大会、会計報告 3. 高田指導主事挨拶・連絡(高校改革、人事考課・国旗・国歌の通達・トライ&チャレンジふれあい月間、事故報告9月63件・苦情、教師に対するもの、クラブ廃止の持ち時間) 4. 報告・連絡(四者協資料の検討、甲子園出場支援金について、勤務時間の割振りについて、5. 協議事項(教育課程、卒業単位数、総合的学習の時間、休暇簿の職権記入、特別指導による欠時数オーバーの取扱い、八王子市内中学校進路指導主任の連絡会南多摩高校で開催等。

#### 第7回定例会 平成11年11月18日(木)

館高校 出席者18名

1. 大須賀(会場校)校長挨拶 2. 高田指導主事挨拶報告。(平成10年度都立高校中退結果、人権に配慮した対応、表彰の推薦、生指・教務研、学校設定教科・科目、総合的な学習について 3. 幹事会報告・人事考課制度について 4. 協議事項・全参クラブ・18時間の持ち時数の根拠、来年度の予算指針、行事予定等。

#### 第8回定例会 平成11年12月9日(木)

八王子労政会館 7学区担当

多摩地区都立高等学校全日制教頭会講演

「意識の国際化」・講師 高橋 茅香子先生

#### 第9回定例会 平成12年1月20日(木)

日野高校 出席者18名

1. 北村(会場校)校長挨拶 2. 高田指導主事挨拶・連絡(春季休業の終期について、進級・卒業の認定、トラブルの未然防止について、教育課程の事前相談) 3. 情報交換・国旗・国歌、情報教育アドバイザー、必修クラブ廃止後の対応、部活動顧問等。

#### 第10回定例会 平成12年2月10日(木)

成瀬高校予定

#### 第11回定例会 平成12年3月9日(木)

小川高校(予定)

報告 八王子高陵 大矢 保雄

## 8. 第8学区高校教頭会

#### 第1回定例会 北多摩高校 出席者18名

平成11年4月20日(火) 14時~17時

1. 会場校 石井校長挨拶 2. 幹事 長谷川教頭挨拶及び望月指導主事紹介・異動紹介
3. 教育委員会 望月指導主事挨拶及び諸連絡
4. 自己紹介 5. 総務部会報告
6. 役員選出 常任幹事<武蔵村山・櫻川> 幹事<羽村・星> 幹事<多摩・渋谷> 会計<多摩工・田村> 挨拶
7. 研究部会報告 8. 情報交換(管理運営規程の学校要覧への記載、平成11年度異動、生活指導等) 9. 平成10年度会計報告

#### 第2回定例会 八王子労政会館 出席者16名

平成11年5月18日(火)

1. 常任幹事挨拶、教育委員会連絡(常任幹事)
2. 第1回幹事会報告 3. 諸連絡

#### 第3回定例会 東大和高校 出席者18名

平成11年6月22日(火) 14時~17時

1. 会場校 高原校長挨拶 2. 常任幹事挨拶
3. 教育委員会 望月指導主事挨拶及び諸連絡(バイク死亡事故、学校外の学修、新学習指導要領、生指研提出のレポート等)
4. 諸連絡(人事考課アンケートの提出、校長研修教頭代理は2回、多摩学区教頭会夏季研修会<8/23・24、川越総合高校・尾瀬高校、多摩学区教頭会第2回定例会12月9日に変更) 5. 研究部会報告 6. 協議(新教育課程の取り組み、塾の学校説明会の参加、喫煙同席の扱い等) 7. 情報交換(機械警備、服務監査、生徒指導等)

#### 第4回定例会 青梅東高校 出席者18名

平成11年7月12日(月) 14時~17時

1. 会場校 坂理校長挨拶 2. 常任幹事挨拶
3. 教育委員会 望月指導主事挨拶及び諸連絡(第2回生指研、国旗国歌、水泳事故等)
4. 総務部会報告(教頭研究協議会、全国大会、必修クラブ、学区存続隣接廃止等) 5. 研究部会報告 6. 協議(校外の学修単位)
7. 情報交換(高校改革、監査、事故事件等)

#### 第5回定例会 福生高校 出席者18名

平成11年9月16日(木) 14時~17時

1. 会場校 金子校長挨拶 2. 常任幹事挨拶
3. 教育委員会 望月指導主事挨拶及び諸連絡、

(事故対応、継続研修、国旗国歌等)

4. 総務部会報告(人事考課等) 5. 研究部会報告 6. 協議(多摩学区教頭会の今後の在り方、学区幹事選出方法、放火事件等)

7. 情報交換(12年度入学生教育課程等)

**第6回定例会** 五日市高校 出席者20名

平成11年10月21日(木) 14時～17時

1. 会場校 黒澤定時制教頭挨拶 2. 常任幹事挨拶 3. 教育委員会 望月指導主事諸連絡(情報アドバイザー、トライ&チャレンジ、事故、必修クラブ廃止等) 4. 総務部会報告(全国PTA東京大会、四者協等) 5. 研究部会報告 6. 協議(校外の学修、都立高校合同説明会<11/3>、多摩学区教頭会の在り方、学区研修会等) 7. 情報交換(学校案内数、死亡事故、周年行事等)

**第7回定例会** 立川高校 出席者16名

平成11年11月18日(木) 14時～17時

1. 会場校 田村校長挨拶 2. 常任幹事挨拶 3. 教育委員会 望月指導主事挨拶及び諸連絡(情報教育アドバイザー、周年行事と国旗国歌、始業前の事件、来年度行事予定等) 5. 研究部会報告 6. 協議(服務監査関係、必修クラブ予算激減対策、職免時間等) 7. 情報交換(防災マニュアル、新聞取材対応、学校説明会、学校運営連絡協議会等)

**第8回定例会** 八王子労政会館 出席者14名

平成11年12月9日(木) 14時～17時

1. 常任幹事挨拶 2. 富士南平校長挨拶 3. 講演会 4. 教育委員会加藤主任指導主事挨拶 望月指導主事諸連絡 5. 諸連絡

**第9回定例会** 東大和南高校 出席者18名

平成12年1月21日(金) 15時～17時30分

1. 会場校 中村校長挨拶 2. 常任幹事挨拶 3. 教育委員会連絡(常任幹事)、総務部会報告(春季休業終期の件、国旗国歌、情報教育アドバイザー、不審電話、開示請求等) 4. 情報交換(春季休業終期の件については不満の声あり、情報教育アドバイザーは専門学科の高度な要求に応えきれない、国旗国歌の進展状況等) 5. 次年度体制等

**第10回定例会** 武蔵村山高校

平成12年2月10日(記) 14時～17時

常任幹事 櫻川紘久(武蔵村山)記

## 9. 第9学区高校教頭会

**第1回定例会**

平成11年4月20日(火) 14時～17時

武蔵野北高校 出席者14名

1. 会場校 宮地校長挨拶 2. 学区担当市川指導主事挨拶と指導部連絡 3. 自己紹介 幹事紹介:百済琢也(小平南)、遠藤周治(清瀬東)、小倉幸夫(東村山西) 4. 異動者紹介 5. 幹事報告 6. 研究協議  
①行政監査 ②事案決定

**第2回定例会**

平成11年5月18日(火) 14時～17時

八王子労政会館 出席者13名

- 1部:多摩地区都立高校全日制教頭会総会  
2部:学区教頭会  
1. 幹事報告 2. 学区担当指導主事よりの指導部連絡と報告 3. 情報交換 ①機械警備 ②特昇

**第3回定例会**

平成11年6月22日(火) 14時～17時

武蔵高校 出席者14名

1. 幹事報告 ①担当指導主事よりの指導部連絡 ②教頭会からの連絡及び協議 2. 情報交換 ①年間行事計画についての指摘事項 ②出勤監査 ③生指研 ④学校要覧

**第4回定例会**

平成11年7月12日(月) 14時～17時

田無工業高校 出席者15名

1. 幹事報告 ①担当指導主事よりの指導部連絡 ②情報交換 ①新教育課程への移行措置 ②生指研のレポートについて

**第5回定例会**

平成11年9月16日(木) 14時～17時

小金井北高校 出席者10名

1. 会場校 小泉校長挨拶 2. 学区担当市川指導主事:指導部連絡と報告 3. 幹事報告 ①人事考課のアンケート集計結果報告 ②普通科教頭会研修視察の案内 4. 情報交換 ①自販機の設置場所 ②学校説明会 ③業務服務監査

**第6回定例会**

平成11年10月21日(木) 14時～17時

田無高校 出席者15名

1. 会場校 廣美校長挨拶 2. 学区担当市

川指導主事：指導部連絡と報告 3. 幹事報告 ①卒業式・入学式 ②情報教育アドバイザーの派遣 ③トライ&チャレンジふれあい月間 4. 情報交換 ①争議行為の件 ②学校運営連絡協議会 ③学校説明会

#### 第7回定例会

平成11年11月18日(木) 14時～17時  
保谷高校 出席者14名

1. 会場校 宮崎校長挨拶 2. 学区担当 市川指導主事：指導部連絡と報告 3. 幹事報告 ①人事考課制度について ②四者連絡協議会 ③学校説明会 ④多摩地区教頭会について 4. 情報交換 ①2件の争議行為について ②11/3合同説明会 ③修学旅行の選定について

#### 第8回定例会

平成11年12月19日(木) 14時～17時  
八王子労政会館 出席者11名

- 1部：多摩地区都立高校全日生教頭会研修会  
1. 加藤主任指導主事挨拶 ①国歌・国旗について ②都立校改革の第2次策定  
2. 多摩地区都立学校校長会代表幹事都立南平高校富士校長挨拶  
3. 講演「意識の国際化」講師 高橋茅香子氏 4. 指導部連絡と報告 5. 奥井事務局長 挨拶 6. 7～10学区常任幹事の報告
- 2部：学区教頭会 1. 幹事報告 2. 情報交換&東久留米地区総合学科高校委員の推薦

#### 第9回定例会

平成12年1月20日(木) 14時～17時  
久留米高校 出席者15名

1. 会場校 渡部校長挨拶 2. 学区担当 市川指導主事：指導部連絡と報告 後に終期の取り扱いの件について苦情が殺到する  
3. 幹事報告 ①入学式・卒業式 ②不適切な教員の対応 ③来年度の行事計画  
4. 情報交換 ①9学区校への盗難事件 ②儉約令 ③特別指導期間 ④9学区教頭研修 ⑤東久留米地区総合学科高校の在り方

#### 第10回定例会

平成12年2月10日(木) 14時～  
久留米西高校(予定)

常任幹事 百済琢也(小平南)記

## 10. 第10学区高校教頭会

#### 第1回定例会

平成11年4月23日(火) 14時～17時  
府中西高校 出席者15名

1. 会場校校長挨拶 2. 自己紹介 3. 役員選出
4. 指導部連絡・指導(卒業式・入学式への対応、時間割協議、文書管理) 5. 総務部会報告、名簿確認 6. 協議・情報交換(企画調整会議、入学者選抜、授業公開)

#### 第2回定例会

平成11年5月18日(火) 16時～17時  
八王子労政会館(多摩地区総会後)  
出席者13名

1. 指導部連絡・指導(事故報告、初任研の構内記録) 2. 幹事会報告(平成10年度報告、平成11年度計画、人事考課) 3. 協議・情報交換(勤務時間の割り振り、機械警備)

#### 第3回定例会

平成11年6月22日(火) 14時～17時  
狛江高校 出席者14名

1. 指導部連絡・指導(指導要録・出席簿の記入、ふれあい月間) 2. 普通科幹事会報告(平成10年度報告、平成11年度計画、人事考課アンケート) 3. 協議・情報交換(新教育課程の取り組み、出勤監査、機械警備、産業医の活用)

#### 第4回定例会

平成11年7月12日(月) 10時半～13時  
八潮高校 出席者11名

- 定例会に先立ち、機械警備試行校の見学、質疑応答。
1. 指導部資料説明 2. 総務部会報告(教頭研究協議会、全国教頭会、四者連絡会)
  3. 協議・情報交換(人事考課、学事視察)

#### 第5回定例会

平成11年9月16日(木) 14時～17時  
調布南高校 出席者13名

1. 指導部連絡・指導(更衣室での盗難、生活指導に関わる情報開示への対応、公文書開示制度の運用状況、情報教育アドバイザーの派遣)
2. 協議・情報交換(夏季研報告、多摩学区教

頭会活動の見直し、四者連絡会)

#### 第6回定例会

平成11年10月21日(木) 14時～17時

稲城高校 出席者15名

1. 指導部連絡・指導(第2次改革推進計画、高校合同説明会、人事考課、国歌・国旗、学校運営連絡協議会、授業公開の通年化、インターンシップ) 2. 総務部会報告(国旗・国歌、情報教育アドバイザー、トライ&チャレンジ、PTA連合会東京大会、教頭研究協議会) 3. 協議・情報交換(留学した生徒の指定校推薦の取り扱い、授業公開の実施状況、人事考課、監査報告)

#### 第7回定例会

平成11年11月18日(木) 14時～17時

南野高校 出席者14名

1. 指導部連絡・指導(授業公開、改革推進計画、資料説明) 2. 幹事会報告(上半期中間報告、12年度計画、四者連絡会) 3. 協議情報(インターネットの利用、情報教育アドバイザー、出勤監査)

#### 第8回定例会

平成11年11月18日(木) 14時～17時

八王子労政会館(7～10学区合同)

1. 協議・情報交換(国旗・国歌、都立高校改革への取り組み)  
学区の情報交換はなし

#### 第9回定例会

平成12年1月22日(木) 14時～17時

農業高校神代農場 出席者14名

1. 指導部連絡・指導(進級・卒業問題、授業公開、教育課程届、卒業証書、継続研修、学校防災マニュアル) 2. 総務部会報告(国旗・国歌、春期休業の終期) 3. 協議・情報交換(学校開放と機械警備、情報教育アドバイザーの活用状況、総合的な学習の時間、国旗・国歌の取り組み状況)

#### 第10回定例会

平成12年2月10日(木) 14時～17時

神代高校(予定)

常任幹事 佐藤文雄(府中西)記

## 11. 島しょ地区高校教頭会

島しょ地区教頭会は、大島・大島南(舎監長を含む)・新島・神津・三宅校・八丈高校・小笠原高校の7校8名で構成されているが、定例会等には大島および八丈の定時制からも参加していただき、計10名となる。

本地区は地理的環境、交通事情等の理由により、組織はあるものの、なかなか全員で集まらず、教頭会としての研究、研修、情報交換の機会に乏しかった。これまでは、教頭総会、僻地教育研修会、教頭研究協議会、などの後に短時間顔を合わし情報交換をする程度であった。

こうした状況の中、昨今の教育環境の急激な変化に対応していくためにも、是非、島しょ学区教頭会を開いて欲しいとの要望や意見があり、島しょ校長会にもご支援いただき、本年度は教頭が出張、研修などで上京する時の前後にいずれかに教頭会を開催することにした。

実際行ってみると、各島で異なる離島、帰島の都合上、どこかに無理がいてしまうこともあったが、これまで、電話、郵便でのやり取りしか無かった教頭間の理解が深まったり、情報交換により、都内、他島の現状がよく分かったりと意義の深いものであった。

#### 第1回定例会

平成11年6月10日(木) 星陵会館

教頭会総会、研究協議会、および懇親会に上京の5名が出席した。その折、先に述べたような教頭会開催の意見が出され、企画、実施することになった。また、転出された先生方との情報交換会も行われた。

#### 第2回定例会

平成11年7月1日(木) 12:00～

都立教育研究所・教育経営研修室

参加:大島、大島南(2)、新島、神津、三宅、八丈、小笠原 計8名

管理職研修(通所Ⅳ)の前に指導部荒川指導主事にご出席頂き、島しょ地区教頭会を開いた。

はじめに指導部から資料にそって連絡・報告があり、その後、各島の状況報告をおこなった。

主な内容は、  
・総合的な学習への取り組み  
・転学の取り扱い  
・生活指導上の問題  
・生

活指導研究協議会の資料取り扱い ・外国人指導助手について 等であった。

### 第3回定例会

平成11年7月29日(木) 17:00 立川

参加:大島(2)、大島南(2)、神津、三宅、八丈(2)、小笠原 計9名

都立多摩教育研究所で行われた、僻地教育・教頭研修会の初日、研修終了後、定時制からも2名参加し、9名で定例会を行った。

各校の現状を報告し、共通課題、問題について話し合った。特に、島特有の問題として、異動に関する事、教員組織の年齢構成、旅費の問題などについての意見交換をした。

### 第4回定例会

平成11年9月7日(火) 9:30~

都立九段高校・校長室

参加:大島(2)、大島南(2)、新島、神津、三宅、八丈(2) 計9名

教頭研究協議会の翌日第4回の定例会を行った。指導部からの情報提供・連絡、各校の情報交換をした。主なテーマは、新教育課程への取り組み、人事考課、出張旅費、学校運営連絡協議会、等であった。

### 第5回定例会

平成11年12月7日(火) 9:30~

都立立川高校・和室

管理職研修(通所Ⅳ)に先立ち、定例会を行った。会場校田村校長よりご挨拶を頂いた後、これまでと同じく、指導部からの情報提供・連絡と各校情報交換(春季休業の終期、情報教育アドバイザー、人事考課、等について)をした。

定例会は都合上、各会とも2時間程度であったが、貴重な情報が得られ、実際に顔を合わせ、具体的な話をすることの重要性、必要性を痛感した。他学区では年10回程度行われている教頭会が5回しか実施できず、到底充分とは言えないが、これを機会に、継続・充実させていきたいと考えている。

最後に、今回、こうして定例会が実現できたのも校長会、会場校の格別のご配慮があったからと感謝しております。

常任幹事 佐々木正文(三宅)記

## 12. 多摩地区全日制高校教頭会

### 第1回定例会(総会)

平成11年5月18日(火) 14時~17時

八王子労政会館 出席者63名

1. 平成10年度代表幹事挨拶及び会員異動紹介  
武蔵野北高校 上林 勇教頭
2. 多摩地区都立高校長会代表幹事挨拶  
南平高校 富士光男校長
3. 議 事  
①平成10年度事業報告・会計報告及び会計監査報告 ②平成11年度役員承認・代表幹事挨拶③平成11年度事業計画案及び予算案承認
4. 報 告  
①各学年教頭会報告 ②各研究部会報告
5. 諸連絡 ※東京都教育委員会・教頭会事務局は欠席のため、挨拶・諸連絡はなし

### 夏季研究協議会

平成11年8月23日(月)~24日(火)参加者20名

1. 研究主題; 現任校の改革・改善、個性化・特色化を推進するため、他件の高等学校の取り組みについて研究・協議する。
2. 研究視察校; 埼玉県立川越総合高等学校、群馬県立尾瀬高等学校

川越総合高校は、県の総合学科設置計画のもと、県西部地区の総合学科高校として平成8年度に農業高校を改変した。「幅広い選択科目」「個性・目的に合った時間割」「小人数による学習」「個に応じた進路」の特色実現のため115講座を置き、総合選択科目には、普通科目以外に、生物生産・グリーンテクノ・バイオ・環境科学等8系がある。無菌培養室・情報処理室等施設設備も充実している。多額の生徒のインターネット使用料の話は「情報」導入の際、考慮が必要と感じた。生徒に自覚が生まれ、個性豊かで積極的に活動する生徒の増加が成果として上げられた。

尾瀬高校は、沼田高校より平成8年度に校名を変更。普通科・経営情報科・自然環境科各1学級で、全国から生徒を募集している。特に、自然環境科には、環境実践、環境測定、総合尾瀬の専門課目を置き、尾瀬の自然や環境保護に取り組む能力や態度を養っている。自然環境棟は木造で美しく、オープン・スベ

ース構造に一同驚嘆の声を上げた。自宅通学も出来ない生徒のホームステイ制度についても詳しい話が聞けた。有意義な研究ができた。

## 第2回総会

平成11年12月9日(木) 14時～17時

八王子労政会館 出席者52名

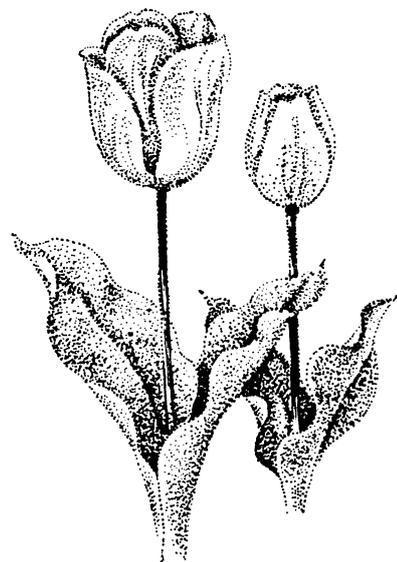
1. 平成11年度代表幹事挨拶
2. 多摩地区都立高校長会代表幹事挨拶  
南平高校 富士光男校長
3. 講演『意識の国際化』

講師：ジャーナリスト 高橋茅香子氏

立川高校・東京外語大学卒業。朝日新聞社37年在職(企画部次長、国際配信部次長、朝日ウィークリー編集長、国際本部副本部長等)。1998年退職。立川高校同窓会「紫芳会」の講師派遣事業によりおいでいただく。

《講演要旨》 国際本部時代、夜勤明けに日本人は味噌汁を、100名中20名の外国人のスタッフはコーヒーを望む。長年外国との関係の仕事をしてきた私でも、日々国民性や文化の違いを感じてきた。「国際化」がキーワードとされる裏には、日本の特殊性に逃げ込んだ方が楽」との考えがある。「心は日本人で意識と行動は国際人」でありたい傾向がある。グローバル化とは、経済・環境・宇宙等がもはや国単位では進まないことに基づく。インターネットの発達、5～6世紀前の印刷技術に匹敵する急激な変化だ。経済界でも雇用形態が変わり、世界規模での雇用・能力主義へと変化している。外国人とは違いを面白がる強さをもってつき合いたい。つき合っこそアイデンティティもはっきりする。アジアの一国としての日本の在り方が問われる時代である。グローバル化は、気持ちではなく決意せざるを得ない時代に進んでいる。

4. 東京都教育委員会挨拶 加藤主任指導主事
5. 東京都教育委員会諸連絡 望月指導主事
6. 高等学校教頭会事務局挨拶 奥井事務局長
7. 各学区教頭会報告、各研究部報告
8. 臨時総会；多摩地区全日制教頭会の在り方  
①総会；6月実施 ②夏季研修会；検討を加えて継続 ③12月定例会；廃止の提案を否決



多摩地区代表幹事 櫻川紘久(武蔵村山)記

# 5. 学科別支部教頭会報告

## 1. 普通科高校教頭会

### 1. 普通科教頭会幹事会

平成11年5月27日（木）エミール  
15時30分～17時00分

#### 議 事

- (1)平成10年度 事業・決算・監査報告
- (2)平成11年度 役員推薦
- (3)平成11年度 事業計画・予算案
- (4)平成11年度総会の役割分担等を検討

### 2. 普通科教頭会総会

平成11年6月10日（木） 星陵会館  
13時30分～14時20分

#### 議 事

- (1)平成10年度 事業報告
- (2)平成10年度 決算報告
- (3)平成11年度 役員選出
- (4)平成11年度 事業計画
- (5)平成11年度 予算承認
- (6)平成11年度 研修会の検討
- (7)その他

平成11年度東京都立高等学校・普通科教頭会役員一覧

役 名	学 区	氏 名	校 名	備 考
幹 事 長	6	鈴木 國夫	深 川	東京都立高等学校教頭会会長
副 幹 事 長	10	山口 正光	府 中	東京都立高等学校教頭会副会長
常 任 幹 事	1	三枝 隆	九 段	各学区選出の常任幹事
"	2	納谷 信	新 宿	"
"	3	寺嶋 幸子	荻 窪	"
"	4	宮島 二郎	文 京	"
"	5	藤松 雄二	青 井	"
"	6	辻 勇一郎	紅 葉 川	"
"	7	大矢 保雄	八王子高陵	"
"	8	櫻川 紘久	武蔵村山	"
"	9	百済 琢也	小 平 南	"
"	10	佐藤 文雄	府 中 西	"
"	島	佐々木正文	新 島	"
会 計	9	小久保正己	久 留 米	常任幹事より推薦
会 計 監 査	4	清水 巖	豊 島	"
"	10	伊佐 進一	神 代	"

役 名	学 区	氏 名	校 名	備 考
幹 事	1	富田 正次	菅 谷	各学区選出の幹事
"	1	小林 淑訓	大 森	"
"	2	大河内保富	深 沢	"
"	2	田中 敬英	松 原	"
"	3	正角 良子	武 蔵 丘	"
"	3	筒井 邦夫	大 泉 北	"
"	4	大山 邦夫	北 野	"
"	4	矢島 賢治	飛 鳥	"
"	5	山藤 勉	瑞 江	"
"	5	出井 新一	足 立 西	"
"	6	長島 清志	江 戸 川	"
"	6	福井 利和	小 岩	"
"	7	山口 久夫	成 瀬	"
"	7	河村 晴子	片 倉	"
"	8	墨 寿男	羽 村	"
"	8	池谷 重雄	多 摩	"
"	9	小倉 幸夫	東 村 山 西	"
"	9	遠藤 篤治	久 清 瀬 東	"
"	10	三浦 弥生	国 立	"
"	島	柴田 哲	大 島 南	"

### 3. 会員異動（平成10.2.1～平成11.1.31）

平成11年3月31日付 退職者3名

平成11年1月1日付

（平成10年12月1日発令の方も含む）

- 校長栄進者 8名
- 全日制間の転任者 6名
- 定時制からの転任者 4名
- 新任者 11名
- 退職者

### 4. 普通科教頭会研修会

#### （1）施設視察

日 時 平成11年9月30日（木）

14時00分～16時00分

視察施設 府中刑務所

内 容 講義および施設見学

福原 正昭先生

参加者 22名

(2) 講演会

日時

平成11年11月25日(木)

15:30~17:00

場所 エミール

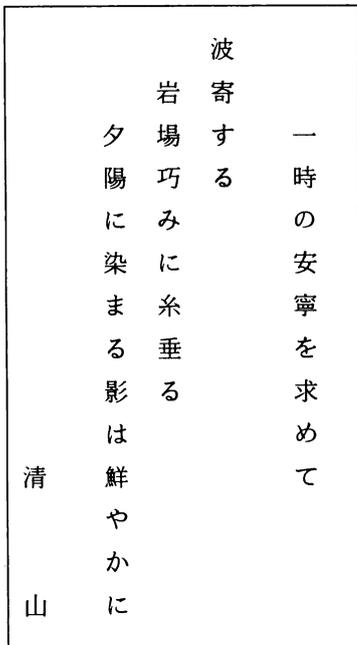
講師 スポーツキャスター 佐藤 安弘先生

演題 「プロ野球監督に学ぶリーダーの条件」

参加者 15名

(感想) ここ数年、参加者が少ない。暇な教頭は誰もいない。都合をつけて皆で盛り立てて欲しい。

副会長 山口 正光(府中)記



## 2. 工業高校教頭会

都立工業高等学校29名(定時制独立校及び仮称科学技術高校を含む)の教頭で構成され、都教委との連絡協議、校務の連絡協議、調査研究、学校・企業の視察、情報交換、会員相互の親睦等が本会の目的である。

幹事長1, 庶務幹事2, 会計幹事2, 工業校長会連絡幹事1が世話役となって企画・運営する。研究組織は、「管理運営研究部会」「工業教育研究部会」「生徒指導研究部会」の3部会がある。平成11年度の活動状況は、下記のような内容で実施した。

### 第1回定例会(兼総会)

平成11年4月22日(木)14時~17時

神楽坂エミール

- 総会: 1. 会員異動及び新任会員紹介 2. 平成10年度事業報告・会計報告 3. 役員改選 4. 新任幹事長挨拶(墨田工高・飯高成男) 5. 平成11年度事業計画・予算案の審議 6. 会則の一部改正

例会: 1. 挨拶: 幹事長 2. 報告: 全国都立高校教頭会 3. 協議事項 ①研究部構成委員と部長選出 ②都立工業高校PR委員会委員の選出(清水、森、小島、石坂) 4. 情報交換 5. 歓送迎会

### 第2回定例会

平成11年5月27日(木)14時~17時

東京都総合技術教育センター

1. 挨拶: 幹事長 2. 指導部連絡 3. センター連絡 4. 夏季管外視察研究協議会について 5. 情報交換 6. 各部研究協議

### 第3回定例会

平成11年7月16日(金)14時~17時

神楽坂エミール

1. 挨拶: 幹事長 2. 指導部連絡 3. センター連絡 4. 教頭会幹事会報告(総会・研究協議会他) 5. 協議事項 ①夏季管外視察研究協議会 ②各研究部の中間発表 6. 情報交換 7. 工業高校四者(校長、全定教頭、事務室長、事務長)役員合同研究協議会について 8. 各部研究協議

#### 第4回夏季管外視察並びに研究協議

平成11年7月27日（火）～18日（水）

##### 1. 学校視察：京都市立伏見工業高等学校

創立78年の歴史と伝統を誇り、6学科を有する。特に、総合技術科は、インターシップを導入すると共に、2年次から進学組と就職組に分かれるなど特色化を打ち出している。学校運営の課題を中心に意見交換し研究を深めた。

##### 2. 企業視察：堀場製作所

昭和20年創立のベンチャー企業の代表格であり、分析機器分野では世界屈指のメーカーに成長している。社是「おもしろおかしく」や会社情報誌の名「a b i r o h」（ホリバの逆）等ユニークな会社であり、創造的で柔軟な考え方は学校運営においても参考になった。

##### 3. 各部会研究中間発表

①管理運営 ②工業教育 ③生徒指導 の3部会から発表を行った。

#### 第5回 工業高校四者合同役員会

平成11年8月23日（月）16時～20時

モノリス29

- 挨拶：都立工業高等学校校長会会長 北島敬己
- 各会代表より現状報告：全教頭会（飯高）、定教頭会（工藤）、事務（室）長会（堀端）、校長会（北島）
- 質疑応答・研究協議

#### 第6回定例会

平成11年9月30日（木）14時～17時

神楽坂エミール

- 挨拶：幹事長
- 指導部連絡
- センター連絡
- 報告 ①夏季管外視察研究協議会 ②工業技術の祭典・生徒作品展示 ③工業高校四者合同役員会
- 協議事項：東京都高等学校工業科生徒研究成果発表会（11月27日）の係分担
- 情報交換
- 各部研究協議

#### 第7回定例会

平成11年10月28日（木）14時～17時

神楽坂エミール

- 挨拶：幹事長
- 指導部連絡
- センター連絡
- 報告 ①都教頭会第3回総務部会 ②PR委員会（産業教育フェスティバル）
- 協議事項：東京都高等学校工業科生徒研究成果発表会の運営等
- 情報交換

#### 7. 各部研究協議

#### 第8回定例会

平成11年11月26日（金）14時～17時

東京都総合技術教育センター

- 挨拶：幹事長
- 指導部連絡
- センター連絡
- 報告 ①都教頭会第2回幹事会 ②PR委員会（産業教育フェスティバル）
- 協議事項：工業教頭会研究発表会時程等
- 情報交換
- 各部研究協議

#### 第9回定例会及び経営研究協議会

平成11年12月21日（火）14時～17時

東京都総合技術教育センター

- 挨拶：幹事長
- 指導部連絡
- センター連絡
- 情報交換
- 経営研究協議会：研究発表及び協議 ①工業教育部会「開かれた工業教育の在り方」 ②生活指導部会「生徒指導における学校と家庭の連携の在り方」 ③管理運営部会「開かれた学校を目指して」 ④質疑応答 ⑤指導助言及び講評：奥村小石川工高長

#### 第10回定例会

平成12年1月25日（火）14時～17時

東京都総合技術教育センター

- 挨拶：幹事長
- 指導部連絡
- センター連絡
- 報告：都立高校四者連絡会
- 協議事項 ①工業教頭会経営研究協議会の反省 ②12年度工業教頭会の役員等
- 情報交換

#### 第11回定例会

平成12年3月14日（火）14時～17時

都立工芸高等学校

- 挨拶：幹事長
- 指導部連絡
- センター連絡
- 協議事項 ①新旧役員引継会 ②12年度工業教頭会総会
- 情報交換

工業科幹事長 飯高成男（墨田工）記



### 3. 商業高校教頭会

情報交換

商業関係教頭会は、23校の教頭23名で構成され、原則として毎月第4木曜日に定例会を開催している。会場は各校持ち回りで、都教委から高田憲一指導主事、総合技術教育センターからは高橋雅信経営・流通システム科長にご出席をいただき、ご指導・ご助言を賜っている。

定例会では、都教委からの連絡並びに報告、諸課題に関する研究協議や情報交換等を行っている。この他に、「全国高等学校教頭会総会・研究協議大会」や「関東地区商業関係高等学校教頭研究協議会」に参加するとともに、「産業教育フェスティバル」等を実施した。

また、教頭会を通して、相互に研修を深め、教頭としての資質向上を図るとともに、円滑な校務処理を行うための機会とすることに努めてきた。平成11年度の活動概要は、下記の通りである。

#### 第1回定例会

平成11年4月22日 午後2時 市ヶ谷商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 平成11年度人事異動に伴う商業関係教頭会の組織編成の決定
- (3) 平成11年度活動方針や年間計画の決定、他

#### 第2回定例会

平成11年5月27日 午後2時 芝商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 都教頭会幹事会報告
- (3) 都商業教育研究大会総会について協議
- (4) 総合技術教育センター実習連絡会幹事選出他

#### 第3回定例会

平成11年6月24日 午後2時 桜水商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 関東地区研究協議会発表、産業教育フェスティバル、都立商業高校体育活動連絡会規約改正について協議
- (3) 学校運営連絡協議会、機械警備等について

#### 第4回定例会

平成11年7月16日 午後3時 江東商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 都教頭会総務部会報告
- (3) 関東地区研究協議会、産業教育フェスティバルについて協議
- (4) 新教育課程編成の進捗状況について情報交換

#### 全国高等学校教頭会総会・研究協議大会

日程 平成11年7月29日から7月30日

場所 高知県立県民ホール

参加者 都商頭会 12名

「時代の進展に即応する教頭の資質向上と高校教育の充実を図る」ことを目的として参加。

文部省高等学校課長補佐の森田正信先生より「高等学校が取り組むべき当面の教育課題」と題して、ご講演をいただいた。続いて、高知県立坂本龍馬記念館長の小林克己先生のご後援も行われた。また、管理運営等各分科会の研究協議に参加した。

#### 第5回定例会

平成11年9月30日 午後2時 赤羽商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 産業教育フェスティバルについて協議  
展示内容並びに珠算・電卓・パソコン実演等の検討。ステージ出場内容（プラバン、パトン）の確認。係分担、今後の準備等の協議。

#### 第6回定例会

平成11年10月28日 午後2時 葛飾商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 都教頭会総務部会報告
- (3) 関東地区研究協議会等について協議
- (4) 卒業式（国旗・国歌）、都立高校合同説明会等について情報交換

#### 関東地区商業関係教頭会研究協議会

日程 平成11年11月16日から11月17日

場所 埼玉グランドホテル深谷

埼玉県立情報処理教育センター

参加者 都商頭会 8名（他に私学2名）

「新学習指導要領実施に向けた商業教育の在り方」－地域や産業界に開かれた商業教育の推進－を協議題として、関東地区の教頭（1都7県84名）が参加。

東京都からは、「開かれた商業教育－インターンシップの実施に向けて－」と題して、相川教頭（三商）、三木教頭（上野忍岡）、森田教頭（赤坂）が研究発表を行った。埼玉県教育局指導部指導課主任指導主事兼主査中村幹夫先生からご講評をいただいた。研究協議の後、文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官吉野弘一先生のご講義と埼玉県立情報処理教育センター次長越谷明先生のご講演をいただいた。

#### 第7回定例会

平成11年11月25日 午後1時 芝商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 新教育課程、情報教育アドバイザー等について情報交換

#### 第8回定例会

平成11年12月14日 午後2時 荒川商業高校

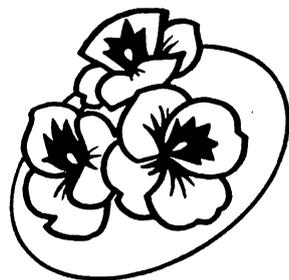
- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 関東地区研究協議会報告
- (3) 服務上の諸問題、生徒の特別指導等について情報交換

#### 第9回定例会

平成12年1月25日 午後2時 第一商業高校

- (1) 都教委・総合技術教育センターからの連絡
- (2) 都教頭会総務部会、四者連絡会報告
- (3) 卒業式の対応等について協議

商業科常任幹事 西脇 正尚（芝商）記



## 4. 農業高校教頭会

農業教頭会は、農業に関する学科を設置している園芸高校、農芸高校、農産高校、農業高校、農林高校、瑞穂農芸高校、大島高校、三宅高校、八丈高校の9校の全日制教頭で構成している。今年度の幹事長（兼常任幹事）は河上正道（瑞穂農芸高校）、幹事は佐々木孝志（農芸高校）がその任にあたった。なお、定時制幹事長は浅井嘉平（農林高校）がその任にあたった。農業教頭会の平成11年度における活動は以下のとおりである。

第1回	4月28日（火）	農林高校
第2回	5月17日（月）	園芸高校
第3回	6月24日（木）	農芸高校
第4回	7月16日（金）	農産高校
第5回	9月13日（月）	農林高校
第6回	10月28日（木）	農業高校
第7回	12月16日（木）	園芸高校
第8回	1月25日（火）	瑞穂農芸高校
第9回	2月8日（火）	農業高校
第10回	3月18日（土）	農林高校

また、農業高校における学校経営上の課題に対処するため、全定教頭間の深めるため都合のつく限り全定合同の教頭会を実施している。今年度は年間2回の全定合同の教頭会を実施し連携を深めた。

なお、各回とも次のような内容で教頭会を実施した。

- ①開催校校長挨拶
- ②都教育委員会からの連絡・指導
- ③報告・幹事会報告
- ④協議
- ⑤情報交換
- ⑥その他

各回での主な協議内容を次に示す。

〔第1回〕

- ①昨年度の反省について
- ②今年度の役割分担について
- ③今年度の教頭会の内容とスケジュール

〔第2回～9回〕

※新教育課程の編成に向けて

新教育課程の編成について各農業高校単独で進めるのではなく、教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事上山先生の指導を受けながら、

お互いに各校の情報を交換し勢力的に進めてきた。特に農業専門分野においては、農業校長会からの呼びかけで農業6校の農場主任会がもたれ、そこに教頭も参加して編成に向けて努力してきた。

〔第5回～8回〕

①都立高等学校産業教育フェスティバル

今年度は瑞穂農芸高校が総務として農業高校部門の窓口となり、教頭会で連絡事務、情報交換を重ねながら進めてきた。11月10日（水）～11月12日（金）の3日間において、都庁の都民広場で、テント5張（緑地環境業、園芸業、食品業、畜産業、農業本部）の中に展示や生製品の販売を実施してきた。

②第52回関東地区学校農業クラブ連盟大会

平成13年度が実施で、その窓口は園芸高校となっているので、それに向けて協議を重ねてきた。

③インターンシップ

造園業界及び建設業界と連携したインターンシップの導入について、農産高校が窓口になって教頭会で協議を重ねてきた。

④機械警備について

平成12年度から瑞穂農芸高校と農業高校に導入されるので、この2校を中心に進行情況、情報などを提供してきた。

〔第9回〕

①全定合同の協議会の実施

②平成12年度の教育課程についての情報交換

〔第10回〕

今年度の反省と今後の運営について協議した。

農業科常任理事 河上正道（瑞穂農芸）記



## 6. 研究部会報告

### 1. 管理運営研究部会

平成11年度の管理運営研究部会は第1委員会、第2委員会がそれぞれ35名の人員で月例会を中心に研究活動を続けている。平成8年度に研究会の活性化を図るために研究会への参加を促すべく各学区に連絡委員を配置したが、現状は好転していない。研究は数名の誠実で熱意ある教頭の犠牲的精神に支えられ、推進している。

平山順一委員長（第1）、綿田直樹委員長（第2）は研究会への参加の呼びかけに努力している。研究のレベルアップのためには多数の教頭の協力が不可欠であり、特に新人の教頭にはぜひ研究会の雰囲気味わって欲しい。研究会は教頭同士の有益な情報交換の場であり、自校の抱える課題解決にも役立つ会である。私自身は月例会に出席できる体制づくりに常に努めていると自負している。研究会へ参加するためには校長先生の理解と協力も必要であり、教頭としての工夫も求められる。次に本年度の研究の取り組みについて述べる。

#### 第1委員会

平成11年度の発表は「開かれた学校づくり」がテーマで、アンケート調査を行い「開かれた学校づくり」の現状を把握することを研究のねらいとしている。調査分野は「地域・社会に開かれた学校づくりの推進」と「生徒に開かれた学校づくりの推進」である。前者の調査項目は以下の通りである。

1. 中学生の体験入学、2. 中学校と高等学校の連携、3. 大学や企業などの関係者による講演会、4. PTA・地域・中学校への授業公開、5. 外部評価、6. 地域・社会の教育力の導入や活用のためボランティア活動の推進、7. 学校外における学修の単位認定、8. 公開講座の実施、9. 学習・文化施設の開放、10. 体育施設の開放。

後者は、11. 生徒の興味・関心に応じた科目の開設、12. 地域・社会を生かした教育活動、13. 学校間の転編入等の移動

を容易化するため、科目や単位数などの扱いを弾力化しているか、14. 校内における学科間又はコース間の移動を容易にするため科目や単位数などの扱いを弾力化しているか、15. 自校退学者の再入学の容易化を行っているか。

アンケート調査の分析・考察の結果、それぞれの学校において、多様な取り組みがなされていることが明白である。また平成14年度に導入される完全学校週5日制に対応するために「開かれた学校づくり」は今後のさらなる取り組みの重要性を本研究は示唆している。

#### 第2委員会

発表は全国大会（高知市）で行われた。第二委員会は発足以来教頭の待遇改善・職務の在り方について研究を行っている。研究のテーマは「教頭の職務－研修および教頭組織の活性化について－」であり、昨年以来の継続研究である。研究は校内研修について9項目、校外研修について5項目、教頭の果たす役割については記述式で2項目から成り立っている。校内研修は、学校改革関係では学校課題について教職員の意識を明確にすること、研修と校内組織に位置づけると同時に校内組織そのものを自校の教育課題に対応できるよう改善すること、教員の意識改革から実践へ結びつけこと等が欠かせないことが調査結果から明確になった。

校外研修への参加促進は教頭の情報提供の重要性と校外研修の成果は半数の学校で教科と分掌に報告されていることが判明した。

校内の活性化は教員の意識の改革が不可欠であり、これを支えるのが教員の資質の向上にかかっている。その具体化に向け研修の充実を求めて、教頭は現在学校の実態に応じて取り組んでいることが調査結果から明らかになった。

#### まとめ

管理運営研究部に限らず、教頭研究部会の研究はそれぞれが研究の質を低下させず、マンネリ化を防ぐべく努力しているのが現状である。そのためには学校改革を目指して都立高校の抱える課題に研究会は研究の焦点を当て、課題解決を図ることが必須である。

部長 新妻 紘（田無）記

## 第1委員会（学校管理関係）

### 管理運営研究部総会・研究会

標記の会合が下記の日程及び内容で行われ。

平成11年4月30日（金）15時

小山台高等学校

1 総会 ・新入会員総会・役員選出

2 研究会 ・分科会

(1) 部長として新妻 紘（田無）を選出した。

(2) 町田 昶（保谷）前第1委員会委員長の後を受け平山順一（調布南）が今年度の委員長となった。第2委員会委員長には、綿田直樹（調布北）が選出された。

(3) 新入会者は以下の通り

鈴木春子（千歳丘） 吾妻完一（水元）  
浦部万里子（東大和）

第2回委員会を平成11年5月9日（木）に行う予定であったが、校内行事等で各委員多忙のため委員会の招集を見送り、FAX等にて平成11年度発表原稿の意見交換等を行った。

### 第3回委員会

平成11年6月3日（木）15時

神楽坂エミール

出席者5名

9月に行われる研究協議会の原稿について再度文言の読み合わせを行った。

FAXで寄せられた意見も取り入れながら内容を詰めていったが、出席者が少なく意気が沈みがちとなる。加えて発表予定者にご不幸があり研究会に参加できなかったため、意見も煮詰まらない。それでも時間を丁寧に掛けて一言一句考察を加えていった。

予定では、最終稿とし情報交換の後、来年度の計画も話し合うつもりであったが、時間が足りず引き続きFAXでの意見交換となった。

### 第4回委員会

平成11年7月2日（金）15時

神楽坂エミール

出席者5名

始めに去る6月8日（火）に行われた教頭研究協議会運営委員会についての報告を行った。その概要は以下の通り。

今後の研究会のあり方が変わることに。特に今

年度からは9月の研究協議会が半日となること、都立教育研究所の工事のため、発表の会場が制約されること等が小林主任指導主事より伝えられた。

また、発表に向けて司会者・記録者・助言指導者等の人選の作業を行い、時程や役割分担の検討に入った。

残余の時間で今後の研究課題について意見交換を行ったが、今回の発表内容を受けての発展的な課題については的が絞られず、次回に持ち越しとなった。

### 平成11年度都立高等学校教頭研究協議会

平成11年9月6日（月）13時15分～16時30分

都立教育研究所

第1委員会の立場として講堂が割り当てられた。提案者は恩田 実（秋留台）・関根征憲（世田谷工業）、司会者に樋野清治（北園）・須藤勝（大泉）、記録者に鈴木春子（千歳丘）・中野英雄（国際）、助言指導者に前小松川高校長の石曾根誠一先生をお願いした。発表テーマは「開かれた学校づくり」である。

発表終了後、毎月の委員会活動への積極的な参加を、委員長より各委員をお願いした。毎回の出席者数の少なさについては、課題として常にあったが、多くの出席者が確保できるならば、更に現実的なより深い認識で研究を進めることができるという期待を捨てきれない。少人数による手探り状態での研究活動には限界がある。助言をお願いした石曾根先生もそのことに触れてくださったのは、ありがたいことであった。

全体会での佐藤 徹指導課長のお話にもあったように「課題のない学校はない」のである。国旗・国歌、教員の服務、教育課程、開かれた学校のあり方等、教頭が中心となって改革すべき問題は山積みである。各高校の状況とその課題解決のためには、所属委員全員による前向きな研究姿勢が基本である。少数に依存する現状を改めるためにも、各委員の意識改革が必要であろう。

### 第5回委員会

平成11年10月7日（木）15時

神楽坂エミール

出席者6名

相変らずの出席者数であるが、来年度のテーマ決めを中心に検討を重ねた。

今年度の発表内容を検討しながら、開かれた学校づくりの観点から「学校運営連絡協議会」に話題が絞られていった。平成13年度実施を前に、学校改革に結びつく具体的な在り方を探ることに意見が集中した。また、研究の方法としては、アンケートの集約結果を中心として報告する仕方を改め、別な方法で研究を進めることはできないかを話し合った。

具体的には、現在の試行校の状況を伺い、その結果を元に、より効果的なあり方を研究することにした。試行校にアンケート方式で組織・内容等を聞いた。寄せられた回答の集約結果を各委員の勤務校にFAX送付した。

更に、参加者数の改善を図るために、各委員が勤務する学校で委員会を開催することにした。

#### 第6回委員会

平成11年11月4日(木) 15時

都立赤坂高等学校

出席者 6名

各校まわりの委員会活動の第1回として、赤坂高校を利用させていただくことにした。

試行校からの資料を用意し、更に他府県での学校評議会に関する資料も用意した。

#### 第7回委員会

平成11年12月3日(金) 15時

都立目黒高等学校

出席者 6名

新装なった目黒高校での委員会である。新校舎落成ならびに創立80周年記念式典の資料等もいただき、校長先生の深いご理解・ご配慮が随所に感じられ、感謝の念で一杯である。

研究方法の具体的な進め方を話題とした。まだ不確定で悲観的な意見もでたが、委員会として理想とするあり方を探っていこうと気持ちを新たにす。

現在のところ活動は足踏み状態であるが、今後可能な限り多くの資料等を当たり、学校の改革に結びつく「学校運営連絡協議会」の理想的な運営方法を委員会として探っていく。そのためにも多くの委員の参加を切に望んでいる。

委員長 平山順一(調布南) 記



## 第2委員会(職務・待遇関係)

### 第1回委員会(出席者8名)

平成11年4月13日(月) 神楽坂エミール

#### 1. 平成11年度役員選出

委員長 : 綿田直樹(調布北)

副委員長 : 大矢保雄(八王子高陵)

#### 2. 平成11年の研究内容について

研究協議会での発表原稿の検討

#### 3. 平成12年度の主題設定と研究内容・方法について協議

### 第2回委員会(出席者8名)

平成11年5月6日(木) 神楽坂エミール

#### 1. 平成11年度係分担の決定(発表者) 青木孝雄(台東商) 大矢保雄(八王寺高陵)

#### 2. 平成11年度の研究発表原稿について

(1) 係分担について

(2) 発表原稿の作成・検討

(3) 平成12年度の研究テーマについて意見交換を行う。

### 第3回委員会(出席者8名)

平成11年6月3日(木) 神楽坂エミール

#### 1. 平成11年度教頭研究協議会について

9月6日(月)におこなわれる協議会の発表者等の係分担の決定。発表: 青木(台東商) 大矢保雄(八王寺高陵) 司会 白木(清瀬) 綿田(調布北) 記録 大倉(墨田川堤) 木嶋(田園調布) 会場: 新妻(田無) 記録責任者・竿田(向島商)

#### 2. 教頭研究協議会の12年度の見通しについて意見交換と次回までの課題確認

#### 3. 全国教頭会高知大会の参加について意見交換及び確認。

#### 4. 情報交換等

### 第4回委員会(出席者9名)

平成11年7月2日(金) 神楽坂エミール

#### 1. 平成12年度の研究テーマについて

(1) 「開かれた学校-家庭・地域との連携・学校評価・授業公開・情報管理について」とする方向で検討

(2) 研究項目・研究方法の具体的な案と研究の進め方について検討

#### 2. 平成11年度教頭研究協議会について

(1) 当日の準備・係分担の確認について

(2) 研究協議会の原稿作成について

3. 情報交換等

都立高等学校教頭研究協議会

平成11年9月6日(月) 都立教育研究所

参加者56名

1. 教頭の職務

－研修及び教員組織の活性化について－

発表：青木(台東商) 大矢保雄(八王寺高  
陵)

記録：大倉(墨田川堤) 木嶋(田園調布)

会場責任者：新妻(田無)

記録責任者・竿田(向島商)

第5回委員会(出席者8名)

平成11年9月24日(木) 神楽坂エミール

1. 平成12年度研究主題の決定
2. 平成12年度研究主題のアンケート項目についての検討。
3. 情報交換

第6回委員会(出席者8名)

平成11年10月7日(木) 神楽坂エミール

1. 平成12年度アンケート内容の決定について検討と討議。
2. アンケート配布・回収等今後の研究方法について意見交換・協議
3. 情報交換

第7回委員会(出席者10名)

平成11年11月4日(木) 都立飛鳥高等学校

1. 12年度研究アンケート集計作業
2. 今後の研究方法について協議と連絡
3. 情報交換
4. その他アンケート集計役割分担について

第8回委員会 出席者(13名)

平成11年12月2日(木) 神楽坂エミール

1. 12年度研究アンケート集計作業
2. 第2回アンケートについて内容検討・討議
3. 情報交換

第9回委員会(出席者9名)

平成12年1月14日(金) 神楽坂エミール

1. 12年度アンケート集計結果分析・考察作業
2. 第2回アンケート集計の経過について
3. 情報交換

第10回委員会(出席者9名)

平成12年2月4日(金)

1. 12年度アンケート集計結果の分析・考察
2. 第2回アンケート集計結果の考察

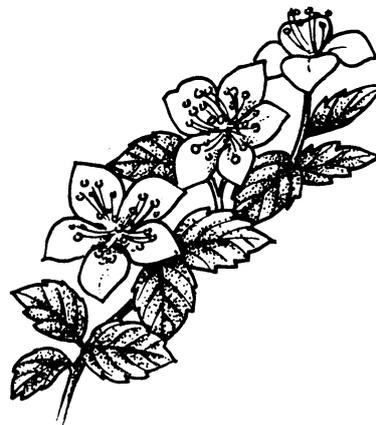
3. 情報交換等

第11回委員会(予定)

平成12年3月2日(木) 神楽坂エミール

1. 第2回アンケート集計結果の分析・考察
2. 発表原稿の作成について
3. 情報交換等

委員長 綿田直樹(調布北)記



## 2. 高校教育研究部会

本研究部会は今年度、第1委員会は「総合的な学習の時間」、第2委員会は、「新教科情報」について研究を重ねた。それぞれのテーマについて委員の学習意欲は旺盛で、会を追うごとに貴重な資料が寄せられた。

また第2委員会は全国教頭会研究協議大会で発表を行ったが、原稿の検討は、第1第2委員会が共同して行った。発表は教育機器を用いビジュアルで分かりやすく、今後の課題を明確にしたものであり、助言者より高い評価をいただいた。

両委員会とも多くの委員が会することが難しくなっているが、情報の共有と新しい情報の収集につとめ、次年度さらに研究部会の活性化と研究の深化充実を図って行きたい。

部長 小林 淑訓（大森）記



## 第1委員会（教育課程関係）

### 第1回委員会

平成11年4月26日（月）

新宿山吹高校において、第1、第2委員会合同で部会を開く。出席委員の自己紹介に引き続き、松尾澤部長の後任として大森高校の小林淑訓を選出した。委員長には羽田高校の武山が選出された。

その後、各委員会に別れ研究内容に関する協議をすすめた。第1委員会では、新しい会員に3月までの進行状況を説明し、前回までに調査した事例の内容を検討した。

### 第2回委員会

平成11年5月6日（木） 新宿山吹高校

平成11年度の教頭研究協議会での発表者に、富士高校の星野を選出した。

各委員が分担して収集した資料をもとに作成した原稿を検討した。事例として、都立高校専門学科2校、同総合学科1校、私立普通科高校1校を共通の視点からまとめることとした。

委員で分担を決め、資料をフロッピーディスクに収め委員長に送付し、まとめることとした。

### 第3回委員会

平成11年6月3日（木） 新宿高校

各委員が担当した部分の原稿に対し、各委員からの意見を参考に推敲した。1行ずつ検討していったが、時間の余裕がなくなったので、この後文言や内容の修正があれば、すみやかに委員長に連絡することを確認した。

### 第4回委員会

平成11年7月2日（金） 新宿高校

教頭研究協議会原稿の細部を検討することと、発表の方法について協議した。

さらに、東京都教頭会研究協議会の係分担を、提案者星野、司会者長谷川・武山、記録係吉田・小暮、会場責任者小林とすることを確認した。

助言者には、前晴海総合高校校長の小川輝之先生をお願いすることとした。

星野が作成した発表原稿について、読み合わせを行い、文言の修正等の確認をおこなった。

平成11年度全国大会の発表は、第2委員会の担当である。第1委員会から全国大会への参加予定者と、現地での予定を確認した。

## 都立高等学校教頭会研究協議会

平成11年9月6日（月） 都立教育研究所

研究協議会において、星野（富士高）が提案者として発表した。委員の協力得てOHPの資料を作成し、発表方法を工夫し、内容がわかりやすいようにした。

助言者の小川先生からは、新しい教育過程を編成する際、教頭がどのように関わり、どんな風に行動したか、教頭の姿が見えるような研究を期待するとの話をいただき、これからの研究に参考となった。

さらに成功事例だけではなく、失敗事例を含めると、研究に深みが増すとの助言もあった。次年度の研究に対する貴重な示唆として受け止めた。

### 第5回委員会

平成11年10月7日（金） 新宿高校

教頭会研究協議会の指導・助言を参考に、研究内容の反省を行った。平成11年度の研究は、新学習指導要領が公示される前であり、資料が不足する中での研究であった。そのため、事例の調査が主体となった。

この反省を踏まえ、次年度の研究主題についての案を各委員で次回までに考えてくることを確認した。

### 第6回委員会

平成11年11月4日（木） 新宿高校

平成12年度の全国大会の発表を担当する委員会について、第2委員会と合同で話し合いを行った。平成9年度、10年度と第1委員会が全国大会で発表した経緯から、平成12年度は第2委員会の発表の予定であったが、諸般の事情から第1委員会が担当することが妥当であることが確認され、平成12年度の横浜大会は、第1委員会が発表することとなった。

### 第7回委員会

平成11年12月3日（金） 新宿高校

研究主題を「総合的な学習の時間と教頭の役割」とし、事例研究をさらにすすめるとともに、成功例の分析と、失敗例から学んでいく方針をたてた。

平成12年度からの移行期間の特例が示されたので、総合的な学習の時間を導入する際、その特例に対応したカリキュラム案を考えてくることとした。

## 第8回委員会

平成12年1月14日（金） 新宿高校

前回までの宿題となった事例調査の資料について報告がされた。この資料については、比較検討が容易なように表にすることにした。

「総合的な学習の時間」の実施計画案の例が提出されたが、総合的な学習の時間の目的に添う内容かどうかについて意見が交わされた。この件について、次回までに調査することとなった。なお、失敗例についてもさらに事例を集めていくことを確認した。

委員長 武山 洋二郎（羽田）記



## 第2委員会（教育対策関係）

### 第1回委員会

平成12年4月22日（木）14：00～17：00

於 新宿高校 出席者4名

第1、第2委員会合同で部会を開く。最初に松尾澤部長の後任として小林淑訓（大森高）を選出した。その後、自己紹介を行い委員会の活動状況について話し合いがもたれた。続いて、各委員会に分かれて委員長に野志（高島高）を選出した。さらに、今年度の全国大会の発表は本委員会が行うことを確認した。

4月29日、5月3日に野口（南高）向井（館高）、野志（高島高）の3名で高島高校に集まり、すでに、学区の連絡委員から送られてきたアンケート調査分析結果を基に全国大会の原稿を書くことにした。

### 第2回委員会

平成12年5月6日（木）15：00～17：00

於 新宿山吹高校 出席者5名

野口（南高）、向井（館高）、野志（高島高）の3名で作成した原稿を委員会で分析検討することにした。第一委員会にも応援を頼み、合同でアンケートの集計結果を分析検討した。第一委員会からは全国大会で発表した経験を基に、鋭い質問が発表者に浴びせられた。さながら全国大会での発表シュミレーションの感があった。このような場面を経験したことは発表者にとって大きな収穫であったに違いない。その後全国大会に向けての情報交換を行った。

### 第3回委員会

平成11年6月24日（木）18：00～19：00

於 新宿山吹高校 出席者5名

全国大会発表原稿の細部の検討と発表の方法について話し合った。資料集での発表でなくスクリーンにカラーグラフを映し、プレゼンテーション形式の発表にする方向で決まった。

さらに、都教頭会研究発表会係分担を決定した。

提案者 野口（南高）・向井（館高）

司会者 村井（明正高）

記録係 山下（大泉学園高）・辻（紅葉川高）

会場責任者 野志（高島高）

また、助言者を元高等商業高校校長 岩田壽男先生にお願いすることにした。その後各校の情報交換を行った。

#### 第38回全国高等学校教頭会研究協議大会

平成11年7月29日・30日の両日行われ、本委員会からは9名が参加した。野志（高島高）が『情報教育と教頭の役割』を発表した。集計結果の数値をグラフ化し、スクリーンに映しての発表を行う手筈であったが、書画装置は準備されていなかった。用意されていたのはビデオカメラとプロジェクターの装備であったため、急遽、向井（館高）がカメラとグラフの操作を行った。グラフを基にしての発表であったのでわかりやすいとの声が聞かれた。参加者は700人以上であり、東京都の教育に関する関心の高さを強く感じた。

#### 第4回委員会

平成11年8月27日（金）16：00～17：30

於 新宿山吹高校 出席者5名

都立学校教頭研究協議会の役割分担についての細部の確認が行われた。

その後各校の情報交換を行った。

#### 都立高等学校教頭会研究協議会

平成11年9月6日（月）12：30～16：45

野口（南高）が提案者として発表した。全国大会での発表内容をテレビモニターに直接パソコンをつないでテレビでの発表形式で行うはずであった。テストはうまくいったのだが本番ではうまく出てこなかったため急遽資料を基に発表した。その後、向井（館高）が全国大会では発表されていないもう一つの事例研究資料を準備して提案した。

助言の岩田先生から、新たな教科「情報」について大いに活用できるのではないか、また活用してほしいとのご指摘があった。

#### 第5回委員会

平成11年11月4日（木）14：30～17：30

於 新宿山吹高校 出席者5名

新テーマを『情報教育の事例研究』とすることに決める。先進校を調査し、研究する方向性が出された。

#### 第6回委員会

平成12年1月27日（木）17：00～18：30

於 新宿山吹高校 出席者6名

来年度の全国大会の発表について第一委員会と合同で委員会を開催した。来年度の全国大会発表は第一委員会の『総合的学習』に決定した。第二委員会としては研究テーマと内容について話し合い。その結果、事例を通して調査研究を進める方向で話がまとまった。その後各校の情報交換を行った。

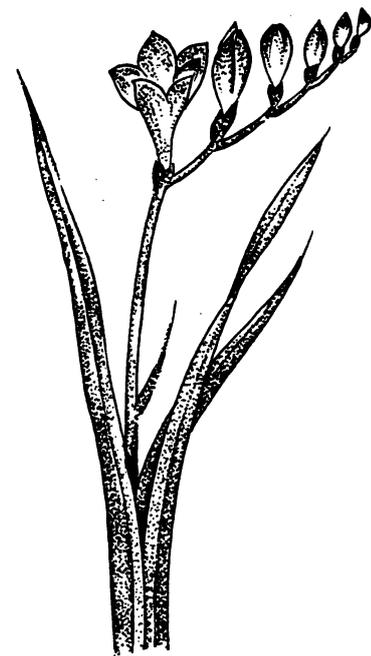
#### 第7回委員会

平成12年1月27日（木）16：30～18：00

於 総合技術センター 出席者7名

今後の進め方を検討した。教科「情報」の学習に向けた取り組みを行っている学校について、調査を分担して行うことに決定する。主に普通高校を対象にして調査を行うと共に、先進の商業高校、工業高校の事例なども研究していく方向で決定した。また、村井（明正高）山下（大泉学園高）を中心に研究が進められることが決められた。

委員長 野志 兼夫（高島）記



### 3. 生徒指導研究部会

平成11年度の生徒指導研究部総会が、4月26日(月)に神楽坂のエミールにおいて開かれた。10年度の研究部長である中村澄隆教頭(三鷹)より幹事会報告がされ、今年度の所属部員の確認を行ったのち、新役員の選出に移った。

研究部長には、大澤紘一教頭(南葛飾)が選出された。また、第1委員会(所属部員数37名)の委員長には橋本護教頭(玉川)が、副委員長には大山邦男教頭(北野)が選出された。第2委員会(所属部員数37名)は、委員長に栗岩淳一教頭(南野)、が副委員長には坂本文樹教頭(昭和)が選出されて、新年度の研究体制が組織された。

引き続き、部会の運営方法についての話に移り、特に昨年参加者が大幅に減少していることを考慮に入れて、今年度の運営についての基本方針が話し合われた。運営方法については参加者を少しでも多くするために、各支部に「連絡係」を置く等の改良を加えてきたが、今回は研究会で話し合われた内容を、毎回連絡係を通して所属委員に連絡をし、常に研究会の進捗状況を周知し進めていくことにした。

研究部会は毎月の第一木曜日を月例会とし、都及び全国の教頭会の報告・各学校の情報交換を行い、その後各委員会での研究協議会を行い、2時間で終了することを基本とした。

本年度の研究内容については、第1委員会は、昨年度「学校不適応生徒に対する校内指導体制」の研究結果を受け、不登校・中途退学に関する事例問題の分析を通して、教頭の役割と対応の実際に焦点を当て、研究を進めた。

第2委員会は、昨年度の研究テーマを引継ぎ、生徒指導に関わる学校に対する不信や不満に対して、学校と保護者の十分な協力体制と信頼関係を作るにはどうしたらよいかとすることで、アンケート形式での調査研究を行った。

第2委員会は今年度、全国の発表に当たっていたので、昨年の研究成果に手を加える形で全国の発表とした。研究内容、発表方法について綿密な打合せを行い発表に臨んだ。

全国高等学校教頭会研究協議大会は、7月29日(木)・30日(金)の2日間、高知県の高知会館においておこなわれ、第3分科会で生徒指

導・進路指導・教科外活動に関する諸問題についての研究発表が行われた。数日前からの豪雨によって、高知県への幹線道路が寸断され開催が危ぶまれたが、大事に至らず予定通り開催された。

東京都からは都立忠生高校の渡部静夫教頭より、「生徒指導の体制と実態」についての発表がされた。また他の道府県からは、千葉県立湖北高校・大阪府立磯島高校・大分県立佐伯豊南高校・高知県立室戸高校から発表が行われた。

最後に助言者の文部省初等中等局職業教育課係長的美濃亮先生と、高知県立高岡高校長の市村藤一先生より、お褒めの言葉をいただいた。

都立高等学校教頭研究協議会は9月最初の月曜日に都立教育研究所で開催された。

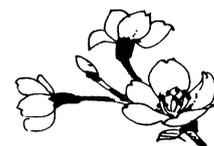
第1委員会は大山邦男教頭(北野)より4つの事例が紹介され、その分析の内容が発表された。ここでの発表は全日制だけであったので、助言者の亀岡良平 前南多摩高校校長よりじっくりと研究成果についての助言を頂くことが出来た。

第2委員会は小島透教頭(足立工業)より、生徒指導において保護者との連携を深める生徒指導について、アンケートの結果分析が発表された。当日、それぞれの委員会に会員の8割以上の教頭が参加し、活発な質問を投げかけていた。

以上、今年度の生徒指導研究会の活動内容である。毎年の反省のなかで提起されることであるが、参加者の減少により研究部会の存続が難しくなっている。集まりの少ないときなどは、研究会が情報交換だけで終わることもあるが、各学校の抱える問題を全都の教頭から、違った視点から聞くことのできる大切な場である。

研究部会の活性化こそ、東京都教頭会の発展につながるものと確信する。そのためにも、会員一人一人の積極的な参加を期待したい。

部長 大澤紘一(南葛飾)記



## 第1委員会（生活指導関係）

### 第1回 平成11年4月26日（月）

神楽坂エミール 参加者 5名

14：30～16：30

平成10年度の最終委員会において、平成11年度の研究主題を、平成10年度の研究主題「学校不適応生徒に対する校内指導体制」を受けて、その体制の中での問題事例を分析し、抽出された問題点をもとに、防止策を考えようと、「問題事例と防止策—教頭の役割と対応の実際—」という主題を設定した。この回は、その研究意義について話し合われた。

### 第2回 平成11年5月6日（水）

神楽坂エミール 参加者 7名

14：30～16：30

この回では、前回の話し合いをもとに、問題事例の多くは体験的に、生徒の人権に関する問題、教員の指導方法に関する問題、教員の資質に関する問題に起因して、生徒・保護者との間でトラブルが発生していると感じられているところから、各学校から、問題となった事例を提出してもらい、その分析を行うという研究方法を探ることが決定された。

### 第3回 平成11年6月3日（木）

神楽坂エミール 参加者 11名

14：30～16：30

前回の話し合いを受けて、問題事例の調査票の内容検討に入った。事例の展開、流れがわかるように記述してもらうために、問題の発端を記し、その後で、経緯と教頭の関わりを記述する方法を探ることにした。さらに、調査票の作成と、発送・主役の分担を決定した。

### 第4回 平成11年7月2日（金）

神楽坂エミール 参加者 7名

14：30～16：30

今回は、9月に行われる、都立高校教頭研究協議会の発表原稿の読み合わせを行った。細かな表現について、特に人権問題に関わる箇所について検討を行った。

### 平成11年9月6日 教頭研究協議会

都立教育研究所 13：15～16：00

発表者 都立北野高等学校

教頭 大山 郁夫

生徒研第1委員会は第5分科会として、35名

の参加を得た。

また、助言者として、参加くださった元南多摩高等学校校長の亀岡良平先生からは貴重な助言をいただいた。また、研究部会に所属していても毎月の研究部会に参加できない状況にある教頭も盛んに意見を述べるなど、教頭会生徒指導研究部会の活性化の一助になるような現象もあり、大変有意義な研究協議会であった。

### 第5回 平成11年10月7日（木）

この回は、9月6日に行われた教頭研究協議会における発表について、フロアの反応や、意見の集約・研究内容の反省などについて話し合った。

### 第6回 平成11年11月9日（火）

神楽坂エミール 参加者 6名

14：30～16：30

この回は、次年度の研究主題を何にするかについて話し合った。

生徒指導研究部会第1委員会においては、過去2年間にわたって「学校不適応生徒の指導と教頭の役割」を大きな主題にして研究を続けてきた。

従って、平成12年度は視点を変え、現在の生徒の状況の著しい変化に対して、学校は、地域とともにどのような対応を考え、また実践しているかについて考察を加えようということになった。

### 第7回 平成11年12月3日（金）

神楽坂エミール 参加者 5名

14：30～16：30

前回の決定を受けて、過去に類似の研究がなされているかどうかの検討を行った。

その結果、約10年前の研究集録に、「健全育成と地域との関わり」が研究されていることがわかった。従って、当時の高校生の実体と今日の生徒状況を比較し、今日的課題を抽出する事が適当ではないかと考えた。

### 第8回 平成12年1月14日（金）

神楽坂エミール 参加者 5名

今回は、前回に10年前との比較検討が決定されたのを受け、教頭会事務局から10年前の研究論文をコピーしていただき、その中で考えられていることの内容検討を行った。その結果、比較項目を、

#### 1. 社会情勢の変化

2. 学校の体制の変化
3. 地域との関係の変化
4. 保護者との関わり方の変化
5. 他校種との連携の変化

の5項目が考えられるという見解がでてきた。これをもとに、どのような研究方法をとれるかについて話し合われた。

#### 第9回 平成12年2月18日(金)

神楽坂エミール 参加者 8名

15:00~17:00

前回の話し合いを受け、それぞれの項目について、どのような変化が考えられるかについて話し合った。

#### 第10回 平成12年3月 日(木)

今回は、具体的アンケートの内容を煮詰めることになっている。

各学校において、地域との連携した生徒指導の実践と、教頭に役割が明確になるような、調査票を作る予定である。

委員長 橋本 謙(玉川)記



## 第2委員会(教科外活動関係)

第2委員会では平成10年10月より研究課題テーマを「生徒指導の体制と実態」と定め活動を行ってきた。

また、平成11年度の全国高等学校教頭会(7月28日~30日、高知市)では渡部静夫都立忠生高校教頭が同テーマ「生徒指導の体制と実態」で第三分科会(生徒指導関係)において研究発表を行った。

本年度の全般は「生徒指導と体制の実態」のテーマを昨年度より引き継ぐとともに、新たに「保護者との連携を深める生徒指導」を副題とし、実態調査のアンケートを実施し、研究を進めた。

アンケート内容は各教頭が保護者との関連において体験した事例をあげてもらい、そのトラブルなどの原因、対応・取組みを調査した。

アンケート調査の集計結果については、平成11年9月、都立高校教頭研究協議会で小島透足立工業教頭が研究発表を行った。

9月の研究発表後はこの調査結果を活用し、さらに研究を深めていくよう取組んでいるが、研究部の例会への委員の参加が少なく、研究を進展させるには非常に困難な状況が続いた。研究活動の活性化が大きな課題である。

#### 第一回委員会(参加者4名)

4月26日(月)14時30分より神楽坂エミールで開催。新年度初めての会合により、新委員の自己紹介に引き続き役員改選が行われた。第2委員会の委員長には栗岩淳一(南野)、副委員長には坂本文樹(昭和)を選出した。

テーマ「保護者との連携を深める生徒指導」のアンケート調査内容などを検討し、次回の例会までに委員各自の案を作成することとした。

#### 第二回委員会(参加者3名)

5月6日(木)14時30分より神楽坂エミールで開催。アンケートの内容について決定する。調査依頼の方法を協議し、各学区の連絡員を通し、各教頭に協力依頼することとした。主に、記述式とし事例を中心に調査することとした。

また、調査研究の進度が若干遅れているため、回答期限、回収後のまとめ・考察などの日程を検討した。

さらに、参加した委員により生徒指導を巡る保護者と学校とのトラブル事例、その対応・措置などの情報交換を行い、各学校においても近年トラブル増加の傾向にあるとの実感を得た。

なお、9月の都立高校教頭研究協議会においての発表者を小島透足立工業教頭に決定した。

#### 第三回委員会（参加者4名）

6月3日（木）14時30分より神楽坂エミールで開催。

アンケート調査の実施状況を報告する。アンケート調査結果のまとめ、考察の日程を再調整し、アンケート回収状況によっては、速やかな集計結果作業を行うため、臨時に集まることを確認した。

#### 第四回委員会（参加者5名）

7月2日（木）14時30分より神楽坂エミールで開催。

9月の都立高校教頭研究協議会発表論文を検討し最終まとめを行った。発表当日の補足説明、想定質問などについて協議し、当日の仕事分担を確認した。

#### 第五回委員会（参加者3名）

10月7日（木）14時30分より神楽坂エミールで開催。

9月の都立高校教頭研究協議会の反省と今後の研究テーマについて協議した。

また、例会の参加者数の少なさや、今後の例会の在り方について意見交換する。一区切りついた後の例会には必ず話される内容であるが、妙案はない。当日の結論は昨年度からのシステムである各学区の連絡委員の立場を十分活用し、例会の活性化を図る方途を探ることとした。

なお、今年度後半のテーマについては意見交換を行い、次回持ち越しとした。

#### 第六回委員会（参加者4名）

11月9日（火）14時30分より神楽坂エミールで開催。

今後のテーマについて協議する。第2委員会の研究役割である教科外活動における各学校の現状、問題点、課題などの意見交換を行う。そうしたなかでホームルーム活動における生徒と担任の関係が従前に比べ希薄になっているので

はないかという点で一致し、今後の研究の方向として進めていくことにした。先行研究などを調査することとした。

#### 第七回委員会（参加者4名）

12月3日（金）14時30分より神楽坂エミールで開催。教頭の多忙な時期であるため、参加人数が少なく、第1委員会と合同で情報交換を行う。各現場での各校が共通に抱えている問題の取り組み状況の情報交換により、大変有意義であった。

#### 第八回委員会（参加者5名）

1月14日（金）14時30分より神楽坂エミールで開催。

現・新学習指導要領、東京都公立校等学校学校評価基準等の資料を参考にホームルーム運営、経営について学校組織、指導計画等に関わる内容を検討する。研究方針等を協議した。

#### 第九回委員会（参加者4名）

2月18日（金）15時より神楽坂エミールで開催。

定期的な各種会議などが重なり、また、学力検査の準備などで例会中にも人の移動もあった。そのため十分話し合えず、調査アンケートの内容などは各委員が案を作り、互いに連絡し合うこととした。

#### 第十回委員会

3月2日（木）

調査研究のためのアンケートを作成し、協力依頼の方法などを検討する予定である。

また、次年度に向けての研究活動方針を確認し、役員の候補などの組織体制について話し合いを進める予定である。

研究活動の活性化の具体策も時間をとり検討していきたい。

委員長 栗岩淳一（南野）記



## 7. 会 員 異 動

平成11年1月1日～平成11年12月31日の異動は次の通りである。

退職者（9名）

平成11年3月31日発令

学区	校 名	氏 名	備 考
1	芝 商	白 鳥 鉄 一	全国会長
1	八 潮	橋 本 隆 司	
3	富 士	東 益 三	会長・全国常任
3	井 草	中 西 克 弘	
4	板 橋	井 島 正 校	
6	江 東 商	近 田 誠 一	幹事
8	砂 川	有 賀 春 次	
9	保 谷	鶴 田 善 利	幹事
10	調 布 南	茂 木 馨 子	

校長等栄進者（30名）

平成11年4月1日発令

学区	校 名	氏 名	現 任 校	備 考
1	三 田	石 井 隆 夫	化 学 工	
2	駒 場	岩 脇 國 夫	青 井	
2	新 宿	大須賀 忠 昭	館	
2	明 正	齋 藤 八重子	校 長 長 研	常任幹事
2	千 歳 丘	渡 部 謙 一	久 留 米	
3	鷺 宮	中 村 秀 行	鮫 津 工	幹事
4	工 芸	澤 間 照 一	荒 川 工	
4	本 所	村 岡 薫	大 山	
5	忍 岡	矢 口 雅 章	雪 谷	
5	足 立 東	田 口 政 雄	小 岩	
5	荒 川 商	北 尾 正 迪	台 東 商	幹事
6	両 国	矢 澤 文 基	杉 並 工	
6	本 所 工	田 邊 泰 正	葛 西 工	
7	八王子東	牧 野 玲 子	大 森	常任幹事
7	日 野	細 井 七 井	秋 留 台	幹事
7	南 平	井 口 武 治	校 長 長 研	
7	野 津 田	佐 治 恒 孝	玉 川	
8	立 川	佐 藤 旨 位	片 倉	
8	東大和南	江 原 美規子	府 中 西	常任幹事
8	武蔵村山東	松尾澤 政 明	野 津 田	高校研部長・全国理事
8	青 梅 東	海 津 忠 幸	千 歳 丘	幹事
8	秋 川	撰 梅 正 人	人 事 部	
9	武 蔵	大 石 巧 造	南 野	
9	小 金 井 北	堀 部 恭 平	志 村	
9	清 瀬	神 保 邦 彦	秋 川	
10	調 布 北	鍵 山 充 尚	武 蔵 村 山	
10	府 中 東	成 合 信 之	深 沢	
10	稲 城	金 子 民 造	羽 村	
10	第 五 商	高 橋 久 子	葛 飾 商	
平成11年10月1日発令				
5	光 丘	今 濱 勝 久	上 野 忍 岡	

## 全日制間の転任者（20名）

平成11年4月1日発令

学区	現任校	氏名	前任校	備考
1	芝商	西脇正尚	向島商	会計
2	新宿	納屋信	新宿山吹	
2	駒場	上山良昭	篠崎	
2	広尾	照井千秋	大島南	
2	新宿山吹	渡邊正久	小川	
3	鷺宮	津田稔	東大和	
6	本所	伊藤實	葛西西	
6	江東商	工藤篤子	桜水商	
6	向島工	渡邊征博	八王子工	
6	本所工	清水武	向島工	幹事
7	八王子東	近藤光男	大泉学園	
8	立川	三戸雄造	都大付属	
8	東大和南	坂本功	富士森	
9	武蔵	岡本毅	三鷹	常任幹事
9	小金井北	明石健一	新島	幹事
9	保谷	町田昶	水元	
9	清瀬	白木和敏	烏山工	
10	三鷹	中村澄隆	大山	生徒研部長・全国理事
10	調布北	綿田直樹	秋川	
10	調布南	平山順一	国際	幹事

## 定時制等の転任者（20名）

平成11年4月1日発令

学区	現任校	氏名	前任校	備考
1	三田	湯澤賢兒	大島	数
1	八潮	苗村深	鷺宮	地理
1	小山台	前蘭実	富士	数
2	都立大付	島宮道男	松原	副校長 保体
2	烏山工	萩原和夫	墨田工・月島分	機械
2	国際	中野英雄	三田	国
3	井草	寶槻広	足立	数
3	桜水商	島村英一	牛込商	商
4	工芸	舘憲紀	羽田工	機械
5	忍岡	菅又勝雄	上野・通信	地理
5	荒川商	藤井正俊	小石川	保体
6	両国	國分丈夫	小岩	国
6	葛西南	齋藤光一	大泉	生物
6	篠崎	塚内恒夫	第三商	物理
7	日野	坂田敬一	瑞穂農芸	政経
7	南平	山室修次	八丈	地理
7	野津田	緒環三雄	五日市	保体
7	小川	町田順	八潮	物理
7	八王子工	間宮靖郎一	王子工	建築
8	青梅東	佐藤公作	代々木	数

新任（22名）

平成11年4月1日発令

学区	現任校	氏名	前任校	備考
5	明正	村井信彦	八丈	世史
5	千歳丘	鈴木春子	足立東	国
5	富士	星野喜代美	飛鳥	保体
6	大泉学園	山下経緯子	桜水商	保体
6	板橋	廣井文隆	大島	保体
7	大山	守山慎一	大泉	英
7	足立東	磯部直樹	両国	保体
7	水元	吾妻完一	大泉北	保体
7	向島商	竿田豊	墨田川堤校舎	生物
8	富士森	津田久枝	砂川	英
8	砂川	内田志づ子	東村山西	英
8	東大和	浦部万里子	桜町	保体
8	武蔵村山東	初見豊	神津	英
8	五日市	池口康夫	保谷	生物
9	秋川	渡邊博史	三宅	日史
9	多摩工	田村國雄	小金井工	国
9	府中東	石坂敦子	町田	機械
	稲城	錦織政晴	新島	国
5	第五商	手打利明	東大和南	保体
10	大島南	有馬利一	野津田	地理
10	新島	宮崎高一	富士森	地学
平成11年10月1日発令				
3	光丘	今橋美文	大森東	数学

## 編 集 後 記

◎ 教育庁の部長・課長など幹部の方々が私達の各種の会議にご出席下さることが非常に多くなっていることに気付きます。高校教育指導課の 加藤 明 主任指導主事には主要な会議にはほぼ皆勤して頂きました。数年前と比較すると、このこと一つでもありがたく感じられます。その他にも、多忙の中を日程のやりくりをつけて、役員と膝を突き合わせた話し合いに応じて頂きました。

◎ 従来も、総会・九月教頭研などでは教育長・次長から親しく話を伺うという年もありました。しかし、総務部会・幹事会となると課長からの施策連絡などという例は殆ど耳にしませんでした。今年度は人事考課が大きな課題となり

    動労課    直原 裕    課長（5月 幹事会）

    職員課    難波 武夫    課長（11月 幹事会）

のお二人に幹事会で質疑に応じて頂きました。それも教頭約60名の席という手ごろな規模であったことは私達にとって何よりの収穫でした。また、ある学区の教頭会では 齋藤指導部長をお招きして率直なお話をして頂いたとも聞いています。（幹事会、学区教頭会の項 参照）

◎ 人事考課への対応にずいぶんエネルギーが費やされた1年でした。本来は、教頭のような管理職がこれにあたることは当然で、それも中心となる職務です。その内容に不適切なものがあるというならともかく、内容以前にその入り口の段階で大議論になりかねないところに不健全な空気が感じられます。このやりきれない空気が校長・教頭を疲労させるようです。その影響が教頭会の活動を萎縮させることはないか、ふと、気になる時があります。出席者が微々たる研究部会はもちろん、幹事会などの欠席も少なくないのです。（研究部報告等の項 参照）

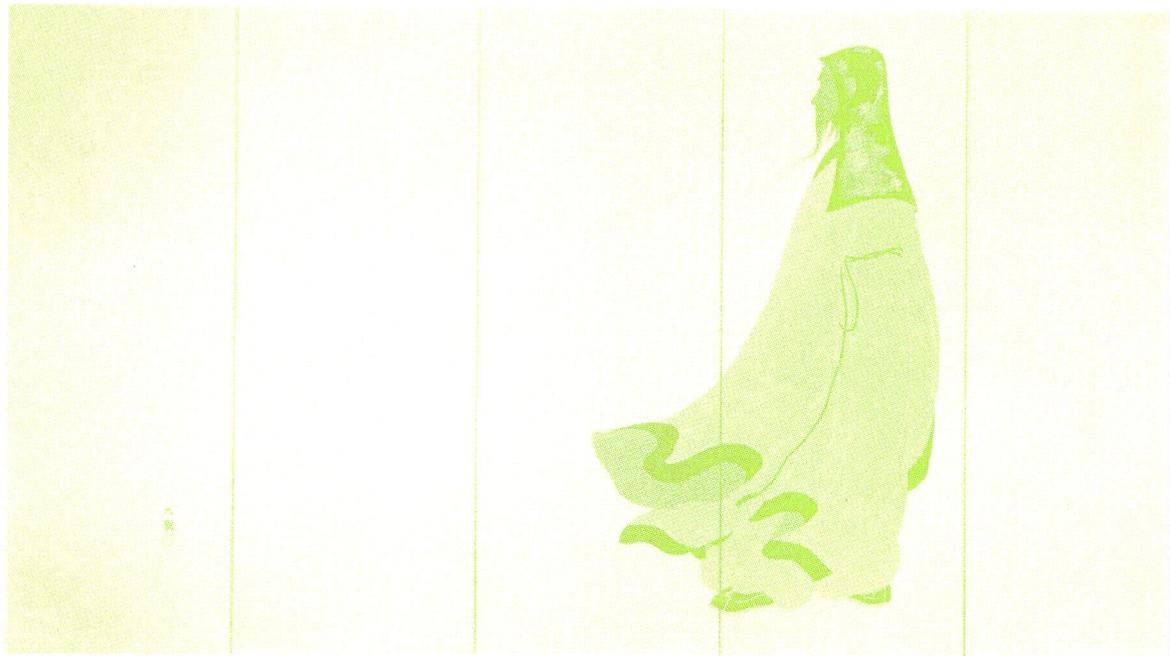
◎ 管理職が自分の学校の問題としっかりと取組むことは当然です。しかし、私達を取り巻く不健全な空気を自分の学校だけで払拭させようとするのは考えられないことです。学校毎の違いは違いとすることがあっても、あくまでも明日の都立高校のためにという視線を失ってはなりません。マイホーム主義ならぬマイ・スクール主義の姿勢は、むしろ不健全な空気の側から歓迎されるかも知れません。

◎ 教師の資質向上と共に、教頭の力量アップということも求められています。それには自校の校長の経営姿勢によく学ぶことが第一です。しかし、チャンネルは一つではありません。教頭相互の組織的な研究活動によっていっそう広い視野から力量アップを図ることも、また、校長を支える道になります。今日のような教育改革の時代、それも議論でなく実践の段階ではとりわけその必要があると言えそうです。

◎ 教育庁の幹部の方々が教頭会とのパイプを重視して下さるということには、そのような事情について私達が感じている以上に深く配慮されているのかも知れません。

最後に、この冊子に原稿をお寄せ下さった役員・常任幹事・研究部部長・委員長の皆様には、1年間のご苦勞を含めてお礼申し上げます。

（事務局）



横山大観 五郷先生